

質問主意書

廣住久道君 安藤龜太郎君 丸山嵯峨一郎君
 武石敬治君 大田信一君 藤岡常彦君
 一圓銀貨幣引換ニ關スル法律案外一件審査特別委員

松田秀雄君 野田卯太郎君 佐々木正藏君
 山口俊一君 布施甚七君 久良知寅次郎君
 浅香克孝君 片岡久一郎君 松枝顯勝君

明治二十九年度豫備金支出ノ件外三件審査特別委員

肥塚龍君 中田彌平君 德増源太郎君
 加藤政之助君 大瀧傳十郎君 中村克昌君
 菊池九郎君 佐藤里治君 磯部孝一君

北海道官設鐵道會計ニ關スル法律案審査特別委員

佐藤里治君 坂井敬義君 木村督太郎君
 島山雄三君 東條彰君 橋部孝一君

臺灣銀行法律中改正法律案審査特別委員

西村眞太郎君 永江純一君 濱名信平君
 内山松世君 草刈武八郎君 片岡直溫君
 本間直君 持田直君 井上角五郎君

香川縣下郡廢置法律案審査特別委員

高橋松齋君 林喬君 竹村藤兵衛君
 宮井茂九郎君 高須賀謙君 奥村龜三郎君
 清水靜十郎君 大久保辨太郎君 井上角五郎君

廣島縣下郡廢置法律案審査特別委員

山薺靜夫君 佐々木高榮君 漢名信平君
 田邊爲三郎君 飯島正治君 片岡直溫君
 奈須川光寶君 脇崎邦輔君 薬袋義一君

岡山縣下郡廢置法律案審査特別委員

坂本金彌君 河田繁穂君 津野常君
 野崎定次郎君 前島丈之助君 麦田宰三郎君
 岡本松太郎君 上條謹一郎君 和田彦次郎君

荒川高三郎君 脇坂行三君 馬越恭平君
 萩野左門君 山本繁造君 齋藤信太郎君
 猪狩八郎君 伊達文三君 菅寄鐵五郎君

傳染病院等ノ敷地地租免除ニ關スル法律案審査特別委員

菊池九郎君 菊池九郎君 木村督太郎君
 萩野左門君 山本繁造君 橋部孝一君
 猪狩八郎君 伊達文三君 三輪傳七君

一政府カ所謂戰後經營ニ於テ俄ニ財政ヲ膨脹シ事業ヲ獎勵シタルノ結果金融逼迫シテ金利暴騰シ爲メニ萬業凋衰シテ我國ノ生產力ハ將サニ大ニ減セントス政府ハ如何ナル方針ヲ以テ此急ニ應セント欲スル乎

一戰後經營中事業公債ヲ以テ支辨スヘキ既定ノ事業中官設鐵道改良ノ如キ電信電話ノ擴張ノ如キ其他港灣ノ改築等ノ如キ急切一日モ措クヘカラサルモノナルモ内國債ヲ募集シテ之レニ充テンコトハ我經濟界ノ現況ニ於テ到底爲シ能ハサルヘキモノ、如シ政府ハ其財源ヲ何處ニ求メント欲スル乎

一清國ヨリ領收セル償金ノ内未ダ其費途ノ確定セサル金額ハ如何ニ之レヲ使用セントスル乎

一戰後經營ニ伴フ十箇年間財政計畫ハ既ニ一定スル所アリ然ルニ政府ハ三十一年度ニ於テ著シク繼續費ヲ削減シ既定ノ年度割ヲ變更スルノ計畫ヲ立テタリト聞ク其詳細如何

一政府ハ日本銀行ヲシテ清國ノ外債募集ニ對シ額面二百万磅ノ應募ヲ爲シメタリト聞ク其手續理由及ヒ之レニ對スル擔保ハ如何抑々亦政府ハ我國財政及ヒ經濟ノ現況ニ於テ他國ノ募債ニ應スルノ餘裕アリト信スル乎右成規ニ據リ提出候也

明治三十一年五月二十三日

提出者 工藤行幹

金山從革

加藤政之助

質問主意書

外二十九名

一前内閣ハ臺灣島ニ在任スル裁判官ハ憲法第五十八條第二項ノ保證ヲ得ル能ハサル者ト認メタリ現内閣ハ該裁判官ヲ視ル猶前内閣ノ如クナル乎奈何右明答ヲ乞フ
 右成規ニ據リ提出候也

明治三十一年五月二十三日

大竹貞一

萩野左門

首藤陸三

贊成者

外十三名

國勢調査執行ニ關スル質問

國勢調査ハ國家事業トシテ最モ必要ニ屬シ且西暦一千九百年即チ我明治三十三年ハ歐洲諸國ニ於テ悉ク執行スルニ因リ我政府モ速カニ之レカ調査ノ計畫ヲ定メ其準備ニ著手アリタキコトハ第十議會ノ決議ヲ以テ建議シ貴族院ニ於テモ亦同様ノ決議建議ヲ爲セリ然ルニ政府ハ未タ何等ノ施設アルヲ聞カス政府ハ該建議ニ對シ如何ニ處置セントセラル、ヤ右成規ニ據リ提出候也

明治三十一年五月二十三日

提出者 江原素六

栗原亮一

萩原正夫

伊達文三

根本正

前島丈之助

賛成者 山本繁造
外三十名

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ會議ヲ開キマス

○加藤政之助君(二百八十一番) 議長

○議長(片岡健吉君) 何デス

○議長(片岡健吉君) 質問ガアリマス

○江原素六君(百五十四番) 是ヨリ豫算委員會ヲ開キタウゴザイマス、宣シ

ウゴザイマスカ

○議長(片岡健吉君) 豫算委員長ヨリ是ヨリ豫算委員會ヲ開クタメ退席シタ

イト云フ請求ガアリマスガ、異議ハアリマセヌカ

(「異ナシ異議ナント呼フ者アリ」)

○江原素六君(百五十四番) 今一ツ序ニ議場ノ許可ヲ得テ置キトイノハ、一度許可ヲ得マセヌデ、豫算委員ハ暫時ノ間御断リナシニ、アチラへ參ッテ宜シウゴザイマスカ

○議長(片岡健吉君) 豫算委員長カラ豫算委員會ヲ開クトキハ、一々許可ヲ得ズシテ退席シタイト云フ請求ガアリマスガ、許シテ差支アリマセヌカ
(「異議ナシ異議ナント呼フ者アリ」)

○議長(片岡健吉君) フレナラ爾來其通ニ致レマス

(「加藤政之助君演壇ニ登ル」)

○加藤政之助君(二百八十一番) 諸君、私ハ——私共今日此財政及經濟ニ就イテ政府ニ質問致サネバナラヌ箇條カ五箇條程アリマス、デ、第一ト申シマ

スルノハ、戰後財政が非常ニ膨脹ヲ致シタダメニ又事業ガ次第ニ勃興致シタタメニ、今日經濟社會ニ非常ナル困難ヲ來シツ、アルノデアリマス、デ、此困難ヲ今日若シ救治ノ策ヲ施サナカツタナラバ、他日非常ナル所ノ損害ヲ釀スデアラウト考ヘマスノデ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル方針ヲ採リ、如何カレイト思フデ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル所カラ、其資金ヲ出シマシテ、其事業ヲ經營スル積デアルカ、是ガ第二ニ聞キタイノデアリマス、而シテ第三、第四、第五ト尙ホ三箇條ゴザイマスケレドモ、此三箇條ハ後トニ致シマシテ、前ノ二箇條ハ聯帶ヲ致シテ居リマスガ故ニ、此二箇條ニ就イテ、先ヅ質問ノ趣意ヲ明ニ致サウト思フノデアリマス、戰後ニ於キマシテ政府ハ大ニ財政ノ膨脹ヲ計リマシテゴザイマス、言換ヘレバ前伊藤内閣ハ我日本政府ノ財政ヲ過度ニ膨脹セシメタノデアルト考ヘマス、縱シ戰後ニ此財政計畫が過度ニ膨脹シテ居ラナクテモ、適度デアリマセウトモ、此戰後ノ經營ト致シマシテハ、政府ノ財政ノ膨脹スルト同時ニ、我日本國ノ經營上ヨリ申セバ、生産上ノ發達ヲ計テ國力ヲ培養致シテ國民ガ其負擔ニ堪ヘルヤウニ其本ヲ養ハナケレバナラヌノハ當然ノ話デアリマス、曩ニ伊藤内閣ガ其當時事業ヲ獎勵致シ通商ヲ獎勵致シタルト云フ精神ハ、即チ之ニ外ナラヌコトデアラウト、私共ハ認メルノデアリマス、既ニ此殖產ヲ發達シ、通商ヲ盛ナラシメルト云フ方針ヲ一定致シタル以上ハ、我日本國ノ經濟上多クノ資本ヲ要スルト云フコトハ、其當時ヨリ極リキツタルコト、考ヘルノデアリマス、又此方針ヲ一度決シテ、實業ノ發達ヲ計リマス以上ハ、從テ我日本國ノ輸入ガ既往ノ如クデナク致シテ、將來大ニ増加スルト云フコトモ、其當時ヨリ分リキツタル事實デアルト考ヘルノデアリマス、例ヘバ鐵道ヲ拵ヘマスレバ、汽罐車ヲ輸入シナケレバナラヌ、又「レール」ヲ輸入シナケレバナラヌ、工場ヲ起シマスト同時ニ、輸入ヲ増加スルト云フコトハ、豫メモウ認ノ附イタ話デアルト私共ハ考ヘルノデアリマス、ソコデ殊ニ不幸ナノハ、一昨年來我日本國ノ此米作ガ悪ルウゴザイマシテ、米ガ不足ヲ告グタト云フコトガ餘程此我日本國ノタメニ困難ヲ加ヘタノデアリマス、ソレガタメニ此事業ニ要スル所ノ器械其他ノ物ノ輸入ト同時ニ、米ノ不作ノタメニ輸入ガ大ニ超過致シマシテ、併

シ此米ノ輸入ノ如キハ、是ハ一時ノ變相デ長ク續クベキモノデナリ、本年不作ナレバ是ハ直チニ止ムノデアリマス、決シテ輸入ガ超過シタト云ツテ我日本國ノ國民ハ——我日本國ノ政府ハ之ニ驚クコトハナイノデアラウト私ハ考ヘルノデアル、固ヨリ驚クベキコトデアリマセヌガ故ニ、政府ハ此ニ至ツテモ尙ホ資本ヲ適度ニ供給致シテ金利ヲ相當ナ度合ニ留メルヤウニ、我日本國ノ財政上勉メナケレバナラヌノデアルト考ヘルノデアル、然ルニ輸入ガ超過致レ、物價ガ一方ニ騰貴致レ、此現象ヲ見ルヤ政府ハ之ニ一驚ラ喚シテ殆ド狼狽ヘタル所ノ形跡ヲ示レタノデアル、ウレハ何デアルカト申シマスレバ、即チ我日本國ノ金融ノ機關タル日本銀行ヲシテ金利ヲ引上げシメタノデアル、通貨ノ收縮ヲ計ツタノデアル、此金利ヲ引上げ通貨ノ收縮ヲ計ツタノハ、何レニアルカト言ロマスレバ、之ニ依ツテ物價ヲ下落セシメル、之ニ依ツテ國民ノ購買力ヲ減セシメル、而シテ輸出入ノ平均ヲ計ルト云フコトガ精神デアシタラウト思フ、併ナガラスノ如キ手段ヲ以テ輸出入ノ平均ヲ計ルコトハ、到底爲シ得ベカラザル話デアル、其結果ヲ諸君ハ明ニ御覽ニナツタデアリマセウケレドモ、此金利ヲ引上げテ通貨ヲ收縮シタト云フ響ハ何處ニ往ツタカト申シマスレバ、戰後ニ多クノ金ヲ儲ケテ無暗ニ物ヲ買ツタト云フ中以下ノ細民ニハ及バナカツタデアル、中以上ノ即チ銀行ト日々取引ヲ爲シツ、アル所ノ此中以上ノ人ニ此響ガ獨リ參ツタノデアリマス、ソレガタメニ我日本國ノ人民ハ、事業上ニ要スル資金ハ、大ニ缺乏致シ、又缺乏ノ上ニモ缺乏ヲ來シタノデアル、ソコデ如何ニ缺乏シテモ如何ニ金利ヲ引上げテモ、事業ニ要スル金ハドウシテモ無ケレバナラヌノデアル、若シ其金ガ無ケレバ其事業ヲ中止休廢スルヨリ外ニ仕方ガナイ、ソレ故ニ金利ヲ引上げテモ事業家ハ金ガ欲シイ、金ヲ貸シテ吳レト云フノデ、之ヲ銀行ニ迫リ、銀行ハ中央機關ナル日本銀行ニ迫ルト云フコトニ相成ツタノデアリマス、是ガ日本銀行ノ意外千萬ニ感ジタ所デアル、利息ヲ引上げタナラバ、金ヲ借リル人ハ少イデアラウ、通貨ハ收縮スルデアラウト考ヘタノデアル、ソレガ反對デ、事業ヲスルタメニハ金ガ無ケレバナラヌ、金ハ是非借リナケレバナラヌト云フノデ銀行ニ迫ル、此ニ於テカ中央銀行ハ如何ナル政策ヲ執ツタカト云ヘバ、今度ハ貸シ溢ッテ、今マテ貸シタモノモ今度ハ殆ド貸サナイト云フ方針ヲ執ツタノデアリマス、此ニ於テカ今マテ日本ノ此商賣上若クハ實業上ニ於テ政府ノ獎勵シテモ、無理ニ融通ヲ求メルナレバ其日歩ハ四錢前後デアル、驚クベキ高利デアリマセヌカ、而シテ其他ノ地方ニ參リマスルト云フト、安キハ二割、高

キハ三割ト云フ利子ヲ拂ハネバ、金ハ借リラレナイト云フ有様、如何デゴザイマセウ、日本デ一割以上ノ金利ノアル事業ハ、今日マテ有望ノ事業トシテ、斯ウ云フ事業ハ起サナケレバナラヌト云フテ、國民舉ツテ力ヲ盡シタノデゴザイマセウ、然ルニ今日日本國ノ此實業商賣ニ要スル金ノ利息ガ三割拂ハナケレバナラヌト云フコトニナリマシタナラバ、如何ニシテ此事業ガ持續スルコトガ出來ルデアリマセウカ、如何ニシテ實業ガ維持スルコトガ出來ルデアリマセウカ、私ハ此勢ガ若シ半年一年ト續イタナラバ、我日本國ノ事業ハ皆休廢シテ製造場ハ煙ヲ止メ、工場ハ機械ヲ休メ、鐵道ハ運轉ヲ止メルト云フ時期ニ際會シナイカト云フコトヲ恐ル、ノデアリマス、是ハ即チ我政府ガ其政策ヲ誤ツタモノデハナイカト考ヘマス、加之ナラズ、此軍事公債其他ノ公債ハ如何デゴザイマスカ、日本銀行デ今日取扱ヒマスル所ノ軍事公債ハ、我日本國民ガ國家ノ威嚴ヲ保ツガタメニ生産事業ニ必要ナル所ノ金ヲ此國民ノ義氣カラ致シマシテ之ヲ引抜イテ日清戰爭ノ時分ニ應シタ所ノ金デアルノデアリマス、然ルニ此公債ハ日本銀行テ抵當ニ取ルニ幾ラニ取ツタカト云フト、安キハ八十五圓若クハ七圓ト云フ擔保價格ヲ定メタノデアル、日本ノ公債ガ直段ヲ落スト云フコトハ、是ハ獨リ此國債ニ應シタル所ノ人ニ向ツテ不利益ヲ與ヘルノミナラズ、海外諸國ニ向ツテモ、我日本國ノ威嚴ヲ墜シ信用ヲ墜スト云フコトニナルノデアリマセウ、外ノ普通ノ株式ナラバ免モ角モ、斯ノ如キ公債ニ向ツテ此百圓ノモノヲ百圓デ常ニ價格ヲ保ツコトノ勤ハ、日本國ノ中央機關タル以上ハ日本銀行ハ爲サナケレバナラヌ、又政府デハ爲サシメナケレバナラヌト私ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ此公債ハ右ノ如ク致シマシテ、其價格ヲ落シテ參リ、日本ノ經濟上ノ此困難ニ當シテ政府ガ施シタル策ハ、凡テ今日マテ誤ツテ居リハセヌカト考ヘルノデアリマス、サレバ此日本ノ財政ヲ膨脹セシメタル伊藤内閣、此日本ノ實業ノ發達ヲ獎勵シタ所ノ伊藤内閣ハ、我日本ノ製造ヲ獎勵シタル所ノ前ノ伊藤内閣ハ、今日其組織コソ變レ、矢張伊藤氏ノ内閣デアリマスカラ、此困難ヲ救治スル責任ハ、明ニ持ツテ居ルト考ヘルノデアリマス、縱シ是ガ政府ノ獎勵デナク、人民ノ意思カラ任意ニ起ツテ此困難ヲ惹起シタモノト致シマシテモ、苟モ一國ノ政府ヲ組織シテ政權ヲ握ツテ居ル以上ハ、此困難ヲ救治スル責任ハ、明ニ持ツテ居ル筈デアリマス、然ルニ斯ノ如キ有様デアリマシタナラバ如何デゴザイマセウ、彼ノ獨逸國ノ如キハ、佛蘭西トノ戰爭後同一ナル困難ヲ起シマシタケレドモ、其當時起シカケタル所ノ凡テノ事業ハ、之ヲ休廢スルニハ至ラシメナカツタノデアリマス、ソレ故ニ非常ナ苦境ニハ陥リマセヌデシタガ、我日本國ニ於テ今日政府ガ其通ノ政策ヲ執ツテ參リマシタコトナラバ、彼ノ獨逸トハ異クテ今日

マデ投ジタル資金ハ、無用ニ屬スル、今日マデ起シカケタル事業ハ休廢スルデアリマセウ、如何ニシテ我日本國ノ維持ヲ爲スコトガ出來ルデゴザイマセウカ、如何ニシテ日本ノ國民ハ、此膨脹シタル租稅ノ負擔ニ堪ヘルデアリマセウカ、私ハ殆ド覺束ナイコト、考ヘマス、縱シ政府ガ一時此處デ増稅ヲ爲シテ、一時ヲ彌縫スルト假ニ假定致シマシタ所ガ、國力ガ衰耗スレバ、租稅ハ減ズルコトハ明デゴザイマセウ、若シ生産ノ力ガ衰ヘテ國民ノ所得ガ減ジタナラバ、即チ所得稅ト云フモノハ、縱シ稅率ヲ増シテモ減ルデアリマセウ、生產力ガ衰ヘタナラバ營業稅ノ率ヲ増シタ所ガ其結果ハ減ズルノデアリマス、酒稅ヲ増加致シマシタ所ガ國力ガ衰ヘテ居ツテハ、酒ヲ消費スル者ガ減ズルカラバ、即チ酒ノ稅ハ減ズルデアリマセウ、然ラバ斯ノ如キ手段デ一時ヲ彌縫シテモ、又一年カ二年ノ中ニハ、再ビ增稅ヲシナケレバナラヌ、今度ハ國民ノ負擔ニ堪ヘズト云フ苦境ニ陥ルト思ヒマス、ソレ故今日ノ策ハ政府ガ出來ルダケノ手段ヲ施シテ、此缺乏シタル所ノ資本ヲ供給シ、此非常ナ高キ利子ヲ適當ニ引下ゲテ、一意專心我日本國ノ生産的ノ事業ヲ發達致スト云フヨリ外ニ私ハ途ハナイト思ロマス、而シテ之ヲ爲スニハ如何ナル政策ヲ取ルカト云ヘバ、若シ大膽ニヤリマスナラバ、全然開放主義ヲ取ッテ、或ハ亞米利加ガ百年以來今日マデ發達ヲ致シマシタ所ノ即チ開放ノ主義ヲ執ッテ外國ノ資本ヲ入レ、又政府ガ事業ニ向ツテハ、外國債ヲ起スヨリ外ニ途ハナインデアリマス、此外國債デナク外資ヲ入レルト云フコトニハ、私ハ三ツノ手段ガアルト思ヒマス、即チ亞米利加ノ如クヤリマシタナラバ、全然開放主義ヲ取リマ本ヲ投ズルノデアリマセウ、第二ノ仕方ハ、箇々別々ニ我日本ノ政府ガ正確ナリ有望ナリト認メタル事業ニ向ツテ保障ヲ與ヘテ外資ヲ入ル、ト云フコトデアル、第三ノ遣リ方ハ或ルツノ此處ニ機關ヲ造ッテ、其機關ニ依ツテ外國ノ資本ヲ呼寄セテ、之ヲ内地ノ事業ニ使ハセルト云フコトデアル、此三ツノ中今日何レノ策カヲ執ルコトガ餘程必要デアル、又次ニ私が第二項ニ質問スル所ノ官設鐵道其他政府ガ施設スル事業ニ向ツテハ、是ハ外資デナイ外國債ヲ政府ガ起シテ使フガ宜シイノデアル、而シテ斯ノ如ク外國ノ資本ヲ入レ外國債ヲ起スト申シマシタナレバ、或ハソレガタメニ日本ハ將來利子ヲ拂ヒ元金ヲ拂フガ故ニ困難ニ陥リハセヌカト、斯様ニ考ヘル所ノ人ミガアルカモ知レマセヌケレドモ、自分ノ考デハ之ヲ若シ生産的ノ事業ニ消費致シマシタナラバ、商人ガ茲ニ儲ケノアル所ノ物品ガアツテ、其物ヲ買ヒ其物ヲ賣ルタ

メニ資本ヲ流通スルト云フノト同ジコトデアル、商人ガ自分ノ暮シノタメニ致ス借金ハ、恐ロシウゴザイマスケレドモ、商人ガ其營業ヲ爲スガタメニ借ル借金ハ、例ヘ万圓デモ千圓デモ百万圓デモ少シモ恐ル、コトハナインデアリマス、ソコデ先ヅ假ニ茲ニ一例ヲ舉ゲテ見マスルナラバ、若シ政府ガ此方針ヲ執ツテ北海道ニ五千万圓ノ資金ヲ注ギ込ムト假定致シテ御覽ナサイ、ソレガタメニ北海道ノ官線鐵道ハ悉ク通ズルデアラウ、北海道港灣モ悉ク開ケルデアラウ、而シテ此官線鐵道ニ沿フタル所ノ鑛山モ開ケルデアラウ、地面モ開ケルデアラウ、ソレデ其結果ガドウナルカト申シマスナラバ、諸君モ御承知ノ通、北海道ハ既往ノ政府ノ調ニ依リマシテモ、成墾地ニ達シマス所ノ地價ノ一番低イ直段ニ積リマシテモ、一段歩假ニ十五圓ノ平均ト致シマシテモ、四億三千三百七十五万九千五百圓ト云フ價額ニナルノデアル、而シテ段別ガ二百八十九万七百三十町歩ト云フモノガアルノデアル、之ガ若シ開ケルニ致シマシタナラバ、十年若クハ十五年若クハ二十年ノ間ニ此地價ヲ日本ノ地價ノ一番低イ直段ニ積リマシテモ、一段歩假ニ十五圓ノ平均ト致シマシカ開ケテ居ラヌノデアル、若シ之ガ殘ラズ開ケルト致シマシタナラバ、北道ノ現在ノ地租其儘ニ据置ニシテ、百分ノ一トシテモ四百三十三万七千五百九十五圓ノ租稅ノ收入ガアルノデアル、又一步進テ内地同様百分ノ二箇半取ルト致シマシタナラバ、千八十四万三千九百八十七圓ト云フ租稅ヲ取ルコトガ出來ルノデアル、而シテ其收穫ハ一段歩五圓トシテモ、一億四千四百五十七万二千五百圓ト云フ收入ヲ取ルコトガ出來ルノデアル、是ハ單ニ北海道ノ土地ダケニ就イテ申シテ其通デアル、北海道ニハ實ニ十分ナ炭山ガアルノデアル、鐵山ガアルノデアル、是等ノモノガ凡テ開ケテ參リマスト致シマシタナラバ、茲ニ五千万圓ノ國債ヲ起シテ彼地ニ投ジテモ、一向國ニ於テ損ガナイ、國ニ於テ損ガナインミナラズ、之ヲ北海道ノ自治ニ經營セシメテモ、立派ニ其元利ヲ消却シテ剩リガアルデアラウト私ハ考ヘマス、斯様ナ譯デアリマスカラ、此際外資ヲ入レ外國債ヲ起スト云フコトハ、少シモ恐ルベキモノデナイ、其事業ヲ擇ミサヘスレバ宜イノデアリマスカラ、私ハ今日ノ此困难ヲ救濟スルノ策トシテハ、外資ヲ入レ外債ヲ起スヨリ、外ニ途ガナイト思フノデアル、若シ政府ガ是ヨリ多キ計畫ヲ持ツテ居リマスナラバ、私ハソレガ承リダイノデアル、若シ政府ガ是ヨリヨリ善キ計畫ヲ持タナイ、唯租稅ヲ増シテ一時ヲ彌縫スルダケダト申シマスナラバ、ソレコソ現在ノ政府ハ無責任デアル、實ニ無法デアルト私ハ明言シナケレバナラヌト思ヒマス、而シテ此第三ノ質問ハ何デアルカト申シマスト、清國カラ請取リマシタ償金ノ中ヨリ今度ノ臨時議會ニ掛ケタ追加豫算ハ一千万圓以上使フト致シマシタ所ガ、尙ホ四五千万圓ノ費途ヲ定メナイ所ノ金ガアルト考ヘルノデアル、此金ハ如何

ニ今日ノ際ニ當シテ政府ガ之ヲ使用スル積デアルカ、ソレガ第三ニ聞キタインデアリマス、第四ニハ政府ガ十箇年計畫テ此繼續費ノ使用ノ年度割ヲ定メマシタノデアリマス、ソレヲ承ル所ニ依レバ、此三十一年度ヨリ其年度割ノ額ヲ變更シタト云フコトデアル——減シタト云フコトデアル、之ヲ政府ガ減シタト云フノハ、何故ニ減シタノデアルカ、又之ヲ如何ニ減シタカ、其事業ニ就いて詳細ノ辯明ヲ求メタインデアル、第五ニハ政府ハ二百万磅日本銀行ヲシテ清國ノ此國債ニ應セシメタト云フコトデアリマスガ、此清國ノ國債ニ應ゼシメタ其手續ハ如何デアルカ、又是ニ應シタル理由ハ如何ナル理由デアルカ、又日本國ノ現在ノ經濟上ノ有様ニ於テ、果シテ他國ノ國債ニ應ズルダケノ餘裕ガアルト政府ハ考ヘルノデアルカ、此點ヲ聽キタイノデゴザイマス、テ、私ノ質問ハ以上ノ五箇條デアリマスルガ、是ハ實ニ刻下ノ急ヲ要スル所ノ問題デアツテ、若シ此議會ニ於テ獨リ租稅ヲ取ルト云フ問題バカリ提出シテ、此困難ヲ救治スルト云フ策ヲ講シナカタトナラバ、私ハ我日本國ノ實業社會ハ、殆ド衰滅ニ歸シテ贍ヲ噬ムモ及ベザルノ悔ガアルデアラウト考ヘルノデアル、ソレ故ニ政府ハ此問題ニ就イテハ、兩三日ノ中ニ答辯ヲシテ貴ツテ、政府ガ方案ガアルナラバ——其方案ニシテ是ナラバ吾ミハ之ニ同意スル、若シ非ナラバ吾ミハ自ラ決スル所ガナケレバナラヌ、自ラ方案ヲ提出シナケレバナラヌト斯様ニ考ヘルノデアリマス、故ニ至急ニ答辯アランコトヲ望ミマ

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程ノ第一特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案

○大竹貫一君(二百三十三番) 議長
(此時大竹貫一君議長席ノ前ニ至リ議長ト私語ス)

○議長(片岡健吉君) 唯今議事日程ノ第一ニ移ルト云フ 宣告ヲシマシタガ、大竹貫一君カラ質問書ヲ出サレテ居ツテ、質問ノ演説ヲ先ニシタイト云フ申出ガアリマスガ、御異議アリマスマイナ

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(片岡健吉君) 御異議ナケレバ大竹君ノ演説ヲ許シマス

(大竹貫一君演壇ニ登ル)

○大竹貫一君(二百三十三番) 私共ハ此憲法第五十八條ノ保障ノ事ニ就イテ政府ヘ質問ヲ致シタトイ思ヒマスカラ、短簡ニ質問ノ趣旨ヲ述ベタイト存シマス、其質問ノ要領ハ、前内閣ハ臺灣ニ在任スル裁判官ハ憲法第五十八條ノ第二項ノ保障ヲ得ル能ハザル者ト認メタリ、現内閣ハ該裁判官ヲ見ル尙ホ前内閣ノ如クナルヤ、如何、斯ウ云フ短簡ナル所ノ質問ヲ政府ニ提出致シマシタカラ、其要領ヲ簡短ニ申述ベタイト思ヒマス、備テ此質問ト云フモノハ、憲法

義解ノ著者タル所ノ伊藤内閣ニ對シマシテハ、殆ド無用ノ質問デアラウト思ヒマス、何せカト申シマスレバ、憲法義解ノ明言スル所ニ據リマスレバ、質問スルマデモナク、伊藤總理大臣ハ無論前内閣ノ解釋ハ誤解デアラウト云フコトハ、直ニ辯明ヲ得ルコト、信ジマス、併ナガラ此憲法問題タルヤ、實ニ人民ノ権利ニ關係ヲ致シマシテ、誠ニ重大ナル所ノ關鍵ヲナスノデアル、若モ始ヨリ憲法ヲ曲解致シマシテ、臣民ヲ蹂躪スルト云フコトデアリマシタナラバ、將來憲法ハ反古紙同様ノモノニナルコト、思ヒマス、萬一右様ノコトガアルト致シマシタナラバ、實ニ臣民ハ意氣地ナキノミテハゴザイマセヌ、誠ニ天皇陛下ニ對シ奉リマシテモ、此恩賜ノ憲法ヲ奸臣輩ノタメニ蹂躪致サレマシテ、吾ミハソレヲ擁護スルコトガ出來ナシタト云フ讀ヲ受ケルト云フコトハ、到底免レルコトハ出來ナイト信ジマス、借テ又前内閣ノ如ク臺灣島ニ置キマスル所ノ裁判官ヲ致シマシテ、憲法第五十八條ノ保障ヲ得ルコトニガ出來マセヌカタナラバ、憲法第二十四條ノ「日本臣民ハ法律ノ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權利ヲ奪ハル、コトナシ」ト云フノ特權ガ消滅シテ仕舞ウト思ヒマスル、若モ此特權ガ消滅ヲ致シマシタナラバ、ドンナコトニ成行クコトデアリマセウカ誠ニアブナイ所ノ次第デアラウト信ジマス、譬ヘテ申シテ見マシタナラバ、時ノ權臣大官ノ忌諱ニ觸ル、所ガアツタト致シマスレバ、臣民ハイツ何時如何ナル所ノ目ニ遭フカヨ知レヌト云フ程ノ極テ危殆ナル所ノ地位ニ立タナケレバナラヌト信ジマス、即チ前内閣ノ如キ場合ニ於キマシテハ、臺灣或ハ澎湖島ノ人民ハ即チ憲法第二十四條ノ「日本臣民ハ法律ノ定メタル裁判官ノ裁判ヲ受クルノ權利ヲ奪ハル、コトナシ」ト云フノ特權ハ、蹂躪サレマシテ、殆ド吾ミガ眼ノ前ニ於テ強盜殺人犯ヲ見ル如キアブナイ思ヲ成スノデアリマスカラシテ、此際ニ於キマシテ之ヲ明瞭ニ致シマセヌカタナラバ、餘程憲法上ニ對シテアブナイコトデアリマスカラ、是非之ヲ明瞭ニシテ置キタイト信ズルノデアリマス、又今日ハ幸ニ致シマシテ憲法上ノ問題ヲ解決スルニ當リマシテ、憲法義解ノ著者タル所ノ伊藤君ハ、松方内閣ニ繼イデ總理トナラヌト云フコトハ、誠ニ千載ノ一遇ト私ハ信ジマスル、マサカニ伊藤君デアリマシタナラバ、前内閣ノ如キ無謀ナル所ノ解説ハ與ヘナイデアラウト私ハ信ズルコトデアリマスル、若モ幸ニシテ現内閣ガ憲法義解ノ如キ解釋ヲ與ヘルト致シマスレバ、幸ニシテ臺灣島ニ在ル所ノ裁判官モ憲法第五十八條ノ保障ヲ得ルコト、ナリマシテ、又臣民モ從テ憲法第二十四條ノ特權ヲ復スルコトデアリマスル、ソレガ故ニ斯ウ云フ場合ニハ、コンナ具合ニ著々ト憲法ノ活動ヲ十分促シマシテ、吾ミ人民ノ権利ト自由ト云フモノヲ完全ニ進捗セシムルト云フコトが必要デアラウト信ジマス、若シモ左様致シマセヌカタナラバ、殆ド憲法ハ反古紙同様ニナルノ虞ガアリマスカラ

シテ、私ハ敢テ此質議ヲ現内閣ニ提出スル所以デアリマスル

○議長(片岡健吉君) 是ヨリ議事日程第一特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ移リマスル、讀案朗讀ヲ省キマス、政府委員目賀田種太郎君

第一 特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案(政 府提出) 第一 読會

特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案

第一條 米、麥、麥粉、石炭、硫黃ノ外主務大臣ハ物品ノ種類ヲ指定シ特別輸出港ヨリ其ノ輸出ヲ許可スルコトヲ得

第二條 前條ノ輸出ニ關シテハ特別輸出港規則ヲ適用ス

附 則

第三條 此ノ法律ハ明治三十一年七月一日ヨリ施行ス

(政府委員大藏省主税局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 特別輸出港ニ於ケル品物ハ、今日法律ニ於テ限ラテゴザイマス、即チ五種ニ限ラテゴザイマス、只今ノ貿易ノ實勢ニ應ジテ、是等ノ特別輸出港ニ於テ尙ホ只今ノ法律ニ記載スルト同様ナ品ニシテ、其輸出ヲ要スルモノ、便ラ與ヘンガタメニ、此案ヲ提出シタ譯デゴザイマス、茲ニ御協賛ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 格別御質問モアリマセヌケレバ、議事日程ノ第一特別委員ノ選舉ニ移リマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
○議長(片岡健吉君) 九名ノ委員ヲ議長ガ指名スルコトニ異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 然ラバサウ致シマス、次ニ議事日程ノ第三明治二十九年法律第五十九號事業公債條例中改正法律案ノ第一讀會ニ移リマス、朗讀ハ省略致シマス

第三 改正法律案(政府提出) 第一 読會

明治二十九年法律第五十九號事業公債條例中改正法律案
アルヲ「壹億四千五百五拾萬圓」ト改ム

○議長(片岡健吉君) 本案ニ就イテハ別ニ辯明モ質問モアリマセヌカラ、議事日程ノ第四特別委員ノ選舉ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
(前通り議長ノ指名)ト呼フ者アリ)

衆議院議事速記録第四號

明治三十一年五月二十二日

日程第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八ニ至ルノ件

○議長(片岡健吉君) 九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名スルコトニ異議アリマス
マイカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第五 明治二十九年法律第六號償金特別會計法中改正法律案(政府提出) 第一 読會

明治二十九年法律第六號償金特別會計法中改正法律案

明治二十九年法律第六號償金特別會計法第三條ヘ左ノ一項ヲ加フ
償金ハ歲計上ノ都合ニ依リ國庫内他ノ會計部ヘ一時繰替運用ヲ爲スコトヲ得

○議長(片岡健吉君) 此案モ同様ニ格別辯明モゴザイマセヌカラ、議事日程ノ第六特別委員ノ選舉ニ移リマス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
(「前ノ委員ニ付託」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 前ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、議事日程ノ第七償金特別會計資金一時繰替支辨ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ移リマス

第七 (償金特別會計資金一時繰替支辨ニ關スル法律案(政府提出) 第一 読會

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法明治二十九年法律第九十三號北海道鐵道敷設法及同年法律第五十九號事業公債條例ニ依ル公債募集金ヲ以テ支辨スヘキ費用ハ市場金融ノ景況ニ由リ一時償金特別會計資金ヲ以テ繰替支辨シ他日公債ヲ募集シテ之ヲ返償スルコトヲ得

(同様ノ委員ニ付託スベシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 是モ質問モナク辯明モゴザイマセヌカラ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、前ノ委員ニ付託スルコトニ致シマ

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
(前ノ委員ニ付託スベシ)ト呼フ者アリ

○議長(片岡健吉君) 是モ矢張前ノ委員ニ付託シテ宜シウゴザイマスカ
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ、前ノ委員ニ付託スルコトニ致シマ

衆議院議事速記録第四號

明治三十一年五月二十二日

日程第一、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八ニ至ルノ件

1111

ス、次ニ議事日程ノ第九人事訴訟手續法案ノ第一讀會ニ移リマス、政府委員河村讓三郎君

第九 人事訴訟手續法案(政府提出)

第一讀會

(政府委員司法省參事官河村讓三郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(河村讓三郎君) 簡單ニチヨウト申上グマス、本案ニ規定致シマ

シタコトハ大略其目錄ニ記載致シタ通デゴザイマス、人事訴訟即チ人ノ身

分關係又ハ能力ニ關シマスル訴訟ハ、公益上ノ關係ヲ有シマシテ、財產上ノ

訴訟ノ如ク一私人間ノ關係ニ止リマセヌ、從フテ當事者訴訟ノ原則ヲ採リ

マスル通常ノ訴訟手續ニ依ラテ之ヲ審理裁判シマスルコトハ相當デアリマセ

ヌ、故ニ曩ニ二十二年法律百四號ヲ以テ婚姻緣組禁治產等ノ特別手續ヲ規定

ニ相成リマシタガ、今回民法ガ修正セラレマスルニ就キマシテ、彼ノ法律百

四號ニハ、大イニ改正ヲ加ヘル必要ヲ認メマスル、依テ本案ヲ提出致シマシタ

○議長(片岡健吉君) 格別質問モゴザイマセヌカラ、次ノ日程第十特別委員ノ選舉ニ移リマス

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○大瀧傳十郎君(十六番) 是ハ一昨日ノ此民法ノ方ノ委員ニ付託致シタイト云

思ヒマス
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 十六番カラ此案ハ昨日ノ民法ノ委員ニ付託シタイト云

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、次ニ議事日程第十

一非訟事件手續法案ノ第一讀會ニ移リマス、政府委員河村讓三郎君

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通ニ致シマス、次ニ議事日程第十

一非訟事件手續法案(政府提出)

第一讀會

(政府委員司法省參事官河村讓三郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(河村讓三郎君) チヨウト簡單ニ申シマス、明治二十二年法律第

九十五號非訟事件手續法ハ、民法修正ノ結果是ヲ訂正致シ、且ツ增補致シマ

スル必要ガゴザイマスル、又非訟事件トシテノ登記ノコトデゴザイマスガ、不動產登記ハ特別法ヲ以テ之ヲ規定致シマシタガ、其他ノ登記就中商業登記ニ就キマシテハ、特ニ規定スル必要ガゴザイマシテ、之ヲ併セマシテ即チ本

案ヲ提出致シマシタ譯デゴザイマス

○大瀧傳十郎君(十六番) 是モ矢張前ノ委員ニ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(片岡健吉君) マダ次ノ議事日程ニ移リマセヌ、格別質問ガアリマセ

ヌカラ、議事日程ノ第十二特別委員ノ選舉ニ移リマス

「前同様ノ委員ニ付託スペシ」ト呼フ者アリ、「贊成々々」ト呼フ者アリ

第十二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

○議長(片岡健吉君) 此案モ前ノ委員ニ付託シテ御異議ガナイト認メマスカラ、其通ニ致シマス、次ニ議事日程ノ第十三水害地方地租特別處分法案、小室重弘君

○議長(片岡健吉君) 此案モ前ノ委員ニ付託シテ御異議ガナイト認メマスカラ、其通ニ致シマス、此法律案ハ明治三十年七月ヨリ十月マ

デノ大洪水ニ依ラテ起シタ所ノ損害地ニ適用ヲ致シマシテ、荒地ニ至ラサルモノノガ、此法律ノ主眼デゴザイマス、ソレデ此法律案ト同ジ法律案ガ今マデ兩

三度出來テ居ラタデアリマシテ、諸君ノ御承知ノ通、明治二十四年ノ震災ノ時分ニ特別處分ヲ致シマシタコトガゴザイマスルシ、又此前ノ議會ニ於テモ決定ヲセラレタ明治二十九年度ノ洪水ニ依ラテ損害ヲ被タ者ヲ救ヒマス

ニ、是ト同様ナ精神カラ出來マシタ法律ガ成立ラテ居ルノデゴザイマス、

其所以ハ地租條例ニ依ラテ見マスルト云フト、土地ノ豐凶ニ拘ラズ、増減ハ出來ナイト云フコトニ規定シテゴザイマスガ故ニ斯ノ如キ數十年ノ間ニ稀ニアル所ノ水害若クハ其他ノ天災ニ罹ラルモノハ此地租條例ニ依ラテハ、

救レテ行クコトガ出來マセヌ譯デゴザイマス、即チサウ云フ特別ノ被害ト云フモノハ、地租條例ニ依ラテハ含レテ居ラナイ、即チ此平均ノ上ニ立タセラレテ居ラナイ譯デゴザイマスルデ、斯ノ如キ特定ノ法律ヲ作ラナケレバ、

之ヲ救レテ行クコトガ出來ナイト云フノガ精神デアルノデゴザイマス、況ヤ

此明治六年地租條例發布ノ時分ニモ前五年ノ平均ヲ以テ之ヲ定メテアフタ譯デゴザイマシテ、斯ウ云フ非常ノ天災非常ノ洪水ト云フヤウナコトニナリマ

シタ場合ノ如キモノハ、此中ニ含マレテ居ラヌ譯デゴザイマスカラサウ云フ非常ノ損害ヲ被ラテ居ル地方ニ對シ其人民ニ對シテハ、國家ガ自ラ之ニ對

スル所ノ救濟ノ特例ヲ設ケテ行カナケレバナラヌ譯デアルノデゴザイマス、前ニモ是ト同一ナル案が出マシタ頃ニ、政府ハ斯ウ云フ議論ヲ以テ反對シ

タヤウニ私ハ記憶シテ居ル、ソレハ備荒儲蓄法ト云フモノガアリ、又此國稅徵收ノ延期ヲ爲スコトガ出來ルカラ——納期ヲ延バスト云フコトガ出來ルカラ、ソレニ依ラテ救レテ行ケバ十分デアルト云フコトデ、多分茲ニ出席ニ

ナラテ居ル目賀田君杯ノ御主張ガサウデアフタ考ヘテ居ルノデゴザイマス

ガ、自分達ノ考ニ依ルト、サウデナイト思フ、備荒儲蓄法ト云フモノハ、土地家屋ヲ賣ラナケレバ納メルコトガ出來ヌト云フヤウナ貧窮ナル人民ノ上ニ施行サレル譯デゴザイマシテ、又延納——此納期ヲ猶豫スルト云フヤウナコトハ、ホシノ一時ヲ處分スル譯デアリマスカラシテ、斯ノ如キ數十年間稀ニアル所ノ大洪水ニ罹ツタ所ノモノ、如キハ、是ニ依ツテ救ハル、コトハ出來ナイデゴザイマス、即チ明治三十年ノ七月ヨリ十月マデノ間ノ洪水ニ罹ツタ此損害ノ有様ヲ、私共ガ報告其他實地ニ見タ所ニ依ツテ調ベマスルト、殊ニ最モ甚シキノハ新潟縣デアルト考ヘラレル、吾ミガ新潟縣ノ請願或ハ新潟縣ノ損害ニ罹ツテ居ル地方ノ陳述スル所ヲ聞キマスルノニ、一攫ミニ申シテ見マスルト、新潟縣ノ如キハ最モ米ノ產額ノ多イ所デ、即チ此譯山ナ米產ノアリマス所デアルニ拘ラズ、三十年ノ大洪水ノタメニ新潟縣ヨリ外ニ賣出ス所ノ米穀ニ於キマシテハ幾ド五六十万石モ輸出シタモノノアタノニ、ソレガ外ニ出スコトガ出來ヌバカリデナク、三十万石以上買入レタ、是ハ何レノ所カラ買入レタカト云フノニ、外國米、南京米サウ云フモノヲ買上ゲテ、僅ニ一縣ノ人民ガ災害ノ後ニ於ケル生活ヲ爲シテ參ルト云フ事柄ハ、誠ニ慘憺ナル事情デアルト考ヘラレマスルデゴザイマス、此外獨リ新潟ノミナラズ、或ハ岐阜ノ如キ、或ハ愛知ノ如キ、若クハ德島、富山、宮城、福島、巖手其害ノ多少ハアルデゴザイマスケレドモ、矢張三十年ノ七月ヨリ十月ノ洪水ニ依テ收穫ガ皆無ニナツタメニ、損害ヲ被ツテ居ル所ハ、渺ナシ、然レドモ之ヲ此國家ガ救フト云フコトニ就イテ、ドノ位國家ノ上ニ收入ガ減ズルノデアルカト申シマスルニ、是ハ概算デゴザイマシテ、私共必シモ精密ニ取調べタ譯デハゴザイマセヌガ、今請願書トシテ現レテ居ルモノ或ハ其他音ミノ

調査シタ所ニ依ルト、三四十萬圓ノ金ガゴザイマシタナラバ、此三十年度ノ

洪水ノ損害ト云フモノハ救フコトガ出來得ルト考ヘルデゴザイマス、此位ナ僅ナ金ヲ以テ救フコトガ出來ルテゴザイマシタナラバ、諸君ノ御贊成ヲ仰イデ、此地方ノ損害ヲ救ヒタイト考ヘル、此法律ノ中ニ尙ホ一言説明ガシテ置キマスルノハ、前ニモ此通ナツテ居リマスケレドモ、第八條ノ附則ニ至クテ特免サレタ地方デアツテモ、法律上ノ納稅資格上ニハ一向關係ガナイトナツテ居ルガ、是ハ今マデノ法律モ其通ニ出來テ居ルノデ、一時ノ特免法デゴザイマスカラ、此一時ノ特免法ノタメニ納稅資格等ヲ奪レル、褫奪サレルト云フヤウナコトハ、ナカルベキ道理デアルト考ヘルノデ、此附則ニモ尙ホ加ヘテ置イタ譯デゴザイマス、此法案ハ前カラゴザイマスルト同シ精神デアリマシテ、別ニ細カイ説明モ要サヌト考ヘルデアリマシテ、一ト通説明致シテ置クデアリマス

○議長(片岡健吉君) 政府委員目賀田種太郎君

衆議院議事速記録第四號

明治三十一年五月二十三日

水害地方地租特別處分法案 第一讀會

(九)

○政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君 漢壇ニ登ル
モノハ、地價ニ依ツテ居ル、其地價ナルモノハ御承知ノ通維新ノ後全國ノ地租ヲ改正シテ、法律ニ依ツテ定メタル所ノ地價ニ課稅シテ居ルノデアル、今日ハ古ノ如ク石盛リニ依ツテ課稅スルノ方法デゴザイマセヌ、然ル以上ハ一定不動ノ地價ニ依ツテ參ル譯デアツテ、即チ今日ノ法律ニ於テ年ノ豐ナルモルガ如キト云フコトニナサツタナラバ、抑々此歲入ノ根基ト云フモノハ、何處ニ依ツテ固クスルコトヲ得マセウカ、是レ本官ガ疑フ所デアリマス、一災既ニ發シ、一事茲ニ起リ、法ヲ後ニ發シテ、サウシテ前ニ遡ラセルト云フモノデアル、然ル以上ハ徵稅ノ安固ト云フモノハ、何レノ所ニ存スルデゴザイマセウカ、折角稅ヲ徵收シ又後ニ至リテ、後ニ設ケラレル所ノ法律ニ依ツテ之ヲ返スト云フコトニナル、既ニ此法ハ昨年モ提出サレマシテゴザイマシニ述ベタ通デゴザイマス、依テ茲ニ本官ハ此案ニ對シテ不同意ヲ表シマスル、併テ茲ニ一言申シマスガ、若シ斯ノ如キ法律ヲ設ケルトセバ、宜シク是ニ法律ヲ出シテ稅ヲ減ジテイタナラバ、其財政ノ不整理ヲ來スコトハ、前ニ依ツテ生ズル所ノ歲入ノ減ズルト云フコトニ向ツテハ、相當ナル財源ヲ提供セシケレバナラムト思フ、是等ハ何レニ依ツテ求ムルコトデアラウカ、以上ノ點ニ就イテ折角ノ御提出デアリマスケレドモ、政府ニ於テハ此案ニ向ツテハ斷ジテ不同意ヲ表シマス

(大竹貫一君演壇ニ登ル)

○大竹貫一君(二百三十二番) 唯今ノ水害地方地租特別處分法案ニ就キマンテ、目賀田君ノ反對ガアリマシタカラ、一應駁論ヲ致シテ置キタイト存ジマス、其前ニ御断リ致シタイト申シマスルノハ、此第七條ノ中ニアリマスル明治三十一年七月三十一日トアリマスノハ、八月三十一日ノ誤植アリマスカラ、御訂正ヲ願ヒタイト存ジマス、本案ノコトハ既ニ提出者タル所ノ小室君ヨリ縷々御陳述ガアリマシタカラシテ、強テ辯明スル必要ガアリマセヌカナレドモ、目賀田君ハ此地租條例ノ第二十四條ヲ楯ニ取リマシテ、地租ハ年ノ豐凶ニ依ツテ増減セズト、此第二十四條ヲ楯ニ取ラレテ、經常歲入ハ確定シテ、動カスベカラザルモノデアルト云フ御議論デアリマシタガ、併ナガラ此地租條例ハ獨立チヲセヌ法律デアル、何せカト申シマスルト、目賀田君ノ言ハレル通、今日ノ地租ハ地價ニ依ツテ課スルコトデアリマス、其地價ト云フモノハ、御承知ノ通明治六年七月第二百四十七號ノ布告地租改正條例世ニ申シマ

スル所謂改正調ナルモノニ基イテアルノデアリマス、堵テ此改正調ハ御承知ノ通前五箇年ノ收穫ヲ平均致シマシテ、其五箇年ノ收穫ニ依リテ、始テ地價ヲ算定シ、地價ヨリ割出シテ地租ヲ定メル法デアル、堵テ五箇年ノ收穫ヲ平均ヲ取ッテ、初テ地價ヲ定メルコトデアル、ソレ故ニ其當時ノ布告ニ於テハ、御承知ノ通收穫ノ丈量ト云フモノハ、五年目五年目ニ一回ツ、スルモノデアル、而シテ今日ノ地租條例第二十四條ハ五箇年ノ有様ハ、年ノ豐凶ニ依リテ増減セズトスウ致シテアル、併ナガラ若シ調ヲ一旦政府が致シマシタ所ガ、非常ナル所ノ困難ヲ加ヘル大事業デアリマスカラシテ、官民共ニ其煩難ニ堪ヘヌノデ、五年目五年目ニ收穫調ト云フモノハ、要セヌト云フノノデ廢シテ仕舞ウタノデアル、堵地租條例ニハ其儘ズラツト今日ニ來タコトデアル、ソレ故ニ提出者小室重弘君ノ申述ベラレタル如ク、五年間乃至八年間ハ、年ノ豐凶ニ依テ平均シ得ルト云フコトハアリマセウケレドモ、數十年若クハ數百年間ニ絶エテナキ稀ニアル害ヲ平均丈量シタモノデナイト云フコトハ明ナコトデアル、堵テ又其他ノ變遷ヲ申シテアリマスレバ、今日此御一新以後制度興廢ノタメニ甚シイ變化ト云フモノガ、此社會ニ起シタコトデアル、明治六年ニ調ベタ所ノ收穫丈量法其他ノコトニ就キマシテ、社會ノ變動世ノ中ノ制度興廢ノタメニ、種々ナル變化ガ起シテ來ルコトデアル、堵又經常歲入ハ、一定不動デナクテハ困ルト云フ御説モアリマシタケレドモ、一昨年——二十九年度ニ於テ損害ヲ受ケマシタケレドモ、ソレハ僅カ百二十萬圓内外デアタト信シマス、全國ノ地租ハ御承知ノ通四千万圓内外デアリマスカラ、僅ニ其缺損額ハ、三分カ四分ノ缺損ニシカナラナインデアリマスカラ、政府委員ノ言レル如ク、經常歲入ヲ動スト云フコトヲ以テ議論ヲセラル、ト云フコトハ、人ノ議論ヲ非難スル程ノコトニハナラムト思ヒマス、故ニ滿場一致ノ賛成ヲ以テ此案ノ通過セラレンコトヲ希望致シマス

○藤岡常彦君(三十八番) 本案ハ政府委員ノ段々反対ノ御論モアリマシタカラ、之ヲ委員ニ付託フシマシテ、調査ヲ遂ゲテ、然ル後ニ尙ホ御議シニナルコトヲ望ミマス

○加藤六藏君(百四番) 私ハ此案ノ如キハ、政府委員ハ反対ヲセラレマシタガ、餘リ價值ノナイ御説ト考ヘマス、素ト地租條例ト云フモノハ、幾ツモ不十分ナ箇條ガアル、殊ニ歲入ノコトヲ述べラレタガ、免租ト云フコトハ矢張ヤツテ居ラレル、矢張歲入ニ關係シマスルコトハ、是ト同ジコトデアル、別ニ調査モ何モ必要ハナイカラ、直ニ大體ヲ議了シテ決ヲ採ラレンコトヲ希望致シマス

○市島謙吉君(二百九番) 唯今ドナタカラノ御説モゴザイマシタガ、私モ是ノ通前五箇年ノ收穫ヲ平均致シマシテ、其五箇年ノ收穫ニ依リテ、始テ地價ヲ算定シ、地價ヨリ割出シテ地租ヲ定メル法デアル、堵テ五箇年ノ收穫ヲ平均ヲ取ッテ、初テ地價ヲ定メルコトデアル、ソレ故ニ其當時ノ布告ニ於テハ、御承知ノ通收穫ノ丈量ト云フモノハ、五年目五年目ニ一回ツ、スルモノデアル、而シテ今日ノ地租條例第二十四條ハ五箇年ノ有様ハ、年ノ豐凶ニ依リテ増減セズトスウ致シテアル、併ナガラ若シ調ヲ一旦政府が致シマシタ所ガ、非常ナル所ノ困難ヲ加ヘル大事業デアリマスカラシテ、官民共ニ其煩難ニ堪ヘヌノデ、五年目五年目ニ收穫調ト云フモノハ、要セヌト云フノノデ廢シテ仕舞ウタノデアル、堵地租條例ニハ其儘ズラツト今日ニ來タコトデアル、ソレ故ニ提出者小室重弘君ノ申述ベラレタル如ク、五年間乃至八年間ハ、年ノ豐凶ニ依テ平均シ得ルト云フコトハアリマセウケレドモ、數十年若クハ數百年間ニ絶エテナキ稀ニアル害ヲ平均丈量シタモノデナイト云フコトハ明ナコトデアル、堵テ又其他ノ變遷ヲ申シテアリマスレバ、今日此御一新以後制度興廢ノタメニ甚シイ變化ト云フモノガ、此社會ニ起シタコトデアル、明治六年ニ調ベタ所ノ收穫丈量法其他ノコトニ就キマシテ、社會ノ變動世ノ中ノ制度興廢ノタメニ、種々ナル變化ガ起シテ來ルコトデアル、堵又經常歲入ハ、一定不動デナクテハ困ルト云フ御説モアリマシタケレドモ、一昨年——二十九年度ニ於テ損害ヲ受ケマシタケレドモ、ソレハ僅カ百二十萬圓内外デアタト信シマス、全國ノ地租ハ御承知ノ通四千万圓内外デアリマスカラ、僅ニ其缺損額ハ、三分カ四分ノ缺損ニシカナラナインデアリマスカラ、政府委員ノ言レル如ク、經常歲入ヲ動スト云フコトヲ以テ議論ヲセラル、ト云フコトハ、人ノ議論ヲ非難スル程ノコトニハナラムト思ヒマス、故ニ滿場一致ノ賛成ヲ以テ此案ノ通過セラレンコトヲ希望致シマス

○高津雅雄君(百三十六番) 百三十六番ハ此提出者ノ辯明ヲ聞キマスシ、又賛成者モ大層ゴザイマスカラ、御尤デゴザイマスガ、讀會ヲ省イテ茲ニ即決スルト云フコトニハ不贊成デアリマス、矢張是ハ手順ヲ履テ鄭重ニスルガ宜イ、特別ニスルト云フコトハ即チ先例ト云フモノヲ作ルノデアル、一度先例ヲ作ルト云フコトニナリマスト、次ノ議會カラ即チ先例ト云フコトニナル、又其次ノ議會ニハ矢張慣例ト云フモノヲ捨ヘテ行フコトニナリマスカラ、即決ト云フコトハ不贊成デアリマスカラ、矢張委員ニ付託スル方ガ宜カラウト思ヒマス

○議長(片岡健吉君) 委員説ニ賛成ガアリマスカラ、之ヲ先決問題トシテ採決ヲ致シマス、唯今ノ案ヲ委員ニ付託シヤウト云フ説ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(片岡健吉君) 少數デゴザイマス、讀會ヲ省略シテ直チニ議決シヤウト云フ二百九番ノ動議デアリマスガ、是ハ三分ノ二以上ノ賛成ガナケレバナリマセヌガ……

○(賛成々々)「三分ノ二以上アル」ト呼フ者アリ
○議長(片岡健吉君) 尚ホ念ノタメ起立ニ諸ヒマス讀會省略ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 大多數デゴザイマス讀會ハ省略致シマス

水害地方地租特別處分法案

確定議

(直チニ採決、賛成「ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 直チニ採決致シマス本案ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 大多數ニアリマス、本案ハ是デ確定致シマシタ、次ニ議事日程ノ第十四登録稅法中改正法律案ノ第一讀會ニ移リマス、議案ノ朗讀ヲ省キマス

第十四 登錄稅法中改正法律案(齊藤良輔君外十名 第一讀會 提出)

登錄稅法中改正法律案

明治二十九年法律第二十七號登錄稅法中左ノ通改正追加ス

第五條第二項二號地價設定ノ下「復舊共」ノ三字ヲ削ル

同條同項九號「地價千分ノ十」ヲ「地價千分ノ一」ト改ム

同條同項十一號ノ次ニ左ノ如ク追加ス

十二 地租條例第二十二條ノ地價ノ設定

十三 地價ノ復舊

同條第二項ヲ削ル

地價千分ノ一
地價千分ノ一

○齊藤良輔君(二百四番) 本案ハ唯今が始テ出シタモノデハゴザイマセズ、第十議會ニ於テ是ハ本院ヲ全會ノ一致ヲ以テ通過シタ案デゴザイマス、併シ其當時ニハ、貴族院ガ即チ會期方盡キマシテ、殘念ナガラ通過致サズシテ法律ニナラヌノデゴザイマス、ソコテ此案ノ趣旨ノ如キハ、即チ御承知ノ通デゴザイマシテ、二十九年ノ法律第二十九號ニ出テマシタ登錄稅ノ中テ、第五條ハ全ク土地ニ關スル登錄デアルノデゴザイマス、然ルニ前回ノ趣意ト稍シ同ジデゴザイマシテ、是等ニ關スル所ノ多クハ、水害或ハ海嘯或ハ洪水旁々等ニ關スルモノガ多ク、此範圍ニ依テ進退スルコトニナシテ居リマス、所ガ茲ニ出テ居リマスモノハ、甚ダ其當ヲ得マセヌ、テ、若シモ此通ニ實施アリマス、ワコテ始ニ於テ「正誤致サヌケレバナラヌコトガゴザイマスガ、

第五條ノ第二項第二號「地價設定」ノ下「復舊共」ノ二字其下ノ「及十號十一號」ト云フノ六字ガ茲ニ落チテ居リマス、是ガ諸君ニ對シテ私共ノ疎漏ヲ謝スル所デゴザイマス、此六字ト云フモノハ、今日ノ即チ五十九番ニナッテ居ナサル廣住君ノ御提出ニナツタ案ヲ、第十議會ニ於キマシテ「ツニ合シテ修正ノ上ニ報告致シタノデゴザリマス、所ガドウ云フ積デゴザリマシタ

カ、之ヲ調べル時分ニ全ク之ヲ調落シヲ致シマシタノデゴザリマス、是ガ必要ノコト、云フモノハ、三十年ノ三十九號ノ法律ニナツテ居ル土地區域變更ニ關スルノデゴザリマス、其精神ト云フモノハ、即チ登錄稅ノ第五條ノ範圍ヲ除イテ居ルノデゴザリマス、然ルニ是ガ有ツテ見マスルト、誠ニ不都合ノ結果ヲ生ジマス、テ、自然彼ノ法律ノ精神カラ見マスルト、之ヲ削除シナケレバナラヌコトハ、分リ切ッタコトデゴザリマスカラ、此六字ハ全ク私共ノ疎漏ノタメニ書落シラ致シマシタノデゴザリマスニ依クテ、之ヲ唯今申述ペマス通ニ、「復舊共」ノ三字「及十號十一號」ヲ削ルト云フコトニ御正誤ヲ願ヒタインデゴザリマス、ソレカラ次ニ附則ト云フノハ、前議會ニ提出シタノニハゴザリマセヌデシタガ、其當時何故ニ是ガ出来マセヌカツカト言ヘバ、二十九年此法律ガ出マシテ、三十年ノ即チ第九議會ニ是ガ出マシテ法律ニナリマシテ、三十年ノ第十議會ニ於キマシテ、是ハ是デハイカヌカラト言ヘバ、此前案ヲ出シタノデゴザリマシタガ、然ルニ昨年ハ既ニ解散ノ場合ニ遭遇シマシテ、之ヲ致スコトモ出來ズ、今日ニ至テ見ルト、此法律ノ實施以後二箇年ノ星霜ヲ經テ岐阜愛知或ハ山形ノ地震其他諸所ノ方面ニ於キマシテモ此條例及特別處分法ニ依ツテ處分シタモノハ、多クハ返り旁々ニナリマシテ、即チ此法律ノ範圍内ヲ以テ納稅致シテアリマス、固ヨリ酷ナモノデアフテ、其比例ヲ申上グマスレバ、例ヘバ「割ノ低課年期ヲ與ヘラレ、假ニ其地價金ヲ百圓トスレバ、取リモ直サズ」圓五十錢ヲ低課サル、其二圓五十錢ヲ低課サル、ニ千分ノ一デゴザリマスカラ、即チ一圓納メナケレバナラヌ、二十五錢ヲ引下グテ居リマス、其二十五錢ヲ引下グテ居リマスニ拘ラズ、復舊スルト七十五錢ヲ加ヘテ一圓納メナケレバナラヌ、二十五錢ヲ緩ウサレテ一圓ノ稅ヲ納メナケレバナラヌト云フガ如キハ、實ニ法律ニ無イ筈ノコト、存シマス、又「割ヲ一箇年低課ヲサル、ト、即チ一圓ヲ納メ、五十錢ノ不足ヲ自分カラ五十錢足シテ、サウシテ納メナケレバナラヌト云フコトニナル、是ハ極端ノ話デアルガ、實際斯ウ云フコトガ澤山アルノデゴザリマス、故ニ此附則ヲ以テ斯ウ云フ酷ナ稅ヲ納メタモノヲ、此法律ニ依クテ其金ヲバ還付シマス、斯ウ云フメニ此附則ヲ添ヘマシタノデゴザリマス、ドウゾ宜シク御贊成ヲ乞ヒマシテ、此酷ナ法律ヲバ宜シク改正致スコトニ致シタイト思ヒマスカラ、御贊成ヲ願ヒマス

○議長(片岡健吉君) 政府委員目賀田種太郎君

(政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 此案ノ附則ハ御同意致兼ネルニアリマスガ、法ヲ既往ニ溯ラセテ、殊ニ印紙稅ヲ現金ヲ以テ返スト云フコトニアリテ、其執行ニ於テ不便ナルノミナラズ、理屈モ亦全カラヌコト、思ツテ居リマス、

其他ノ事ニ就キマシテハ、政府ニ於キマシテモ段々見ル所モゴザリマス、多少修正ヲ此案ニ向クテ乞ヒタイト云フ廉モゴザリマス、即チ他ノ條項ニ就イテ取テ一概ニ不同意ヲ申ス限テゴザリマセヌ、定テ此案ニ就キマシテハ、委員ヲ御組織ニモナリマセウト存ジマスシ、又此案ハ御提出ノ各項目ノ如キハ、

登録税法中土地臺帳登録ノミナラズ、其他ノ項目トモ權衡ヲ保クテ出來テ居ルコトデゴザリマスカラ、其邊ノ御評議モ委員會ニ於テアラウト思ヒマスカラ、本員ノ願フ所ハ、冀クハ委員會ニ於テ提出者ト御協議ヲ致シテ出來ルコトハ出來ルヤウニ致サウト云フ考デゴザリマス、茲ニ此案ニ對スル所見ヲ述べテ置キマス

○堀家虎造君(二百二十二番) 政府委員ニチヨウト御尋ヲ致シマス、唯今ノ

御演説ニ依リマスト、此登録税法ノ提出ノ外ニ、又政府ハ改正ノ必要ヲ認メテ居ル所モアルト云フヤウニ聽取リマシタガ……

○政府委員(目賀田種太郎君) 左様デゴザリマセヌ、此御提出案ニ向クテ、御提出條項ニ向クテ差向キ尙ホ斯ノ如クナシタラ宜カラウト云フ修正ノ考モ持テ居ルト云フノデアリマス

○政府委員(目賀田種太郎君) 尚ホ此外ニ修正ヲシタイト云フ御意見テハナ

チ居ルト云フノデアリマス

○堀家虎造君(二百二十二番) 尚ホ此外ニ修正ヲシタイト云フ修正ノ考モ持テ居ルト云フノデアリマス

○政府委員(目賀田種太郎君) サウハ唯今申シマセヌデシタ

○小室重弘君(百八十八番) 此案ハ甚ダ明白ナル議案デゴザリマスカラ、別ニ委員會ニ付スルノ必要ハナカラウト思ヒマス、成ルベクハ此場合讀會ヲ省略シテ直チニ確定スルコトニシタイト思ヒマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○政府委員(目賀田種太郎君) 只今小室君ノ御發議モアツタヤウデゴザリマ

シタ、然ル以上ハ尙ホ又茲ニ一言ヲ加ヘテ置キマスガ、先刻二百二十二番カラ御尋ガアリマシタケレドモ、右ハ單ニ此本案ニ關スルノミノコトデゴザリマシタカラ、私ハ殊更差控ヘテ居リマシタケレドモ、一體全體ヲ取クテ申シマスルト、此登録税ニ就イテ大分改正ノ必要が生ジテ來テ居リマス、ソレハ他ノ譯デモゴザリマセヌガ、追々此議場ニモ提出ニナラントシ、又

提出ニモナツテ居リマスガ、御承知ノ通此民法其他民法ニ附屬スル諸律又商法ノ改正、ソレ等ノタメニ登録法中ニ於ケル事項ニ大イニ變更ヲ來シマシテ、爲ニ餘程手廣イ改正ヲ必要トスル場合ニナツテ居リマス、ソレハ折角

二百二十二番ノ御尋モゴザリマシタケレドモ、未ダ此議場ニ未發ノコトデゴ

ザイマスカラ、差控ヘテ居リマシタガ、サウ云フ考モゴザリマスカラ、若シ此案ノ如キハ矢張幸ニ其中ニ加ヘマシテ前後一貫シタル改正ニナル方ガ、却テ便アラウカト思ヒマスデ、茲ニ委員ヲ舉ゲンコトヲ希望致シマス

○小室重弘君(百八十八番) チヨウト御尋ヲ致シマスガ、然ラバ委員ニ之ヲ付託スレバ、政府デモ御考下スクテ、必シモ反対ハシナイト云フ譯デアリマスカ

○政府委員(目賀田種太郎君) サウ甚シク反対ノ意ハナイ、附則ニ就イテハ聊カ意見モ持ツテ居ルガ、他ノ茲ニ御提出ノ廉ニ就イテハ、御同意ノ廉モアル、イヅレソレ等ハ講究致シタイ、就イテハ御同意ノ廉モアルト、イヅレソレ等ハ能ク御協議ヲシタイト云フノデゴザイマス

○小室重弘君(百八十八番) ソレデハ私ハ今ノ發言ヲ取消シマシテ、委員會ニ付シテ御相談ガ出來ルナラバ、更ニ委員會ニ付スルコトニ致サウト思ヒマスル

○堀家虎造君(二百二十二番) 議長……

○議長(片岡健吉君) 質問デスカ

○堀家虎造君(二百二十二番) 矢張委員ニ付シテ取調ヲシタイト云フノデス

○議長(片岡健吉君) 委員說ガ出マシテ先決問題ニナリマスカラ、委員說カラ採決ヲ致シマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 委員ヲ設クルニ同意ノ諸君ハ、起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(片岡健吉君) 多數ト認メマスルカラ、委員ヲ設クルコトニ致シマス、九名ノ特別委員ヲ議長ガ指名ヲシマシテ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナン異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(片岡健吉君) 御異議ガナケレバ其通致シマス、次ニ議事日程ノ第十五日本體育會國庫補助建議案ノ第一讀會ニ移リマス

第十五 日本體育會國庫補助建議案(小室重弘君外十一名提出)

日本體育會國庫補助建議案

國家ハ民人ヲ以テ成ル民人ノ體軀強健ニシテ是ニ強健ナル國家アリ國民體育ノ一日モ忽ニス可カフサル復タ言ヲ待タス熟々惟フニ我國開國進取ノ宏謨ヲ擴ケ國家ノ全力ヲ舉ケテ歐米諸國ト文明世界ノ競場ニ角逐スルノ今日

ニ於テ國民體育ノ宜シク大ニ振起ス可クシテ而シテ振起セサルモノアルハ
本員等ノ頗ル遺憾ナリトスル所ナリ

日本體育會ハ明治二十四年以來或ハ體操練習所ヲ設ケ體育ノ教師ヲ公私立
學校ニ供給シ或ハ體育場、射的場、游泳場等ヲ設ケ或ハ兵事講習科ヲ設ケ
或ハ雜誌ヲ刊行シ其ノ國民體育ノ振興ニ於ケル頗ル務メタルモノアリ今ヤ
其ノ會員全國ニ在ル者一萬二千餘人前途ノ事業甚ク有望ナリト爲ス
故ニ政府ヨリ五箇年ヲ期シ毎年金三萬圓ヲ日本體育會ニ交附シ以テ國本ヲ
扶植スルノ目的ヲ達セシメムコトヲ望ム

右及建議候也

(小室重弘君演壇ニ登ル)

○小室重弘君(百八十八番) 諸君、茲ニ私共ガ提出シマシタ所ノ日本體育會
ニ國庫補助ヲ致スト云フ建議案ニ就キマシテ、提出ノ理由ヲ述ベヤウト考ヘ
マス、此問題ハ今日モ貴族院ニ同シ趣意ヲ以テ提出サレタノデアリマスルガ、
貴族院デハ滿場一致ヲ以テ此問題ヲ通過セシメラレタ云フコトヲ承知シマ
シタ、吾々ハ實ニ満足ニ堪ヘヌ、上院ノ諸君ガ斯ノ如ク日本ノ教育上ニ就イ
テ力ヲ用ヒラレ、心ヲ勞セラルト云フコトハ甚ダ満足致スデゴザイマスル、
願クハ此衆議院ニ於キマシテモ、吾々ノ建議案ノ恙ナク通過アランコトヲ希
望スルノデアリマスル、尤モ教育上ノ議論ノ如キモノハ、隨分珍重ナ問題デ
ゴザリマスカラ、或ハ私共ノ説明ガ諸君等ノダメニ倦怠ヲ買フカモ知レヌ
ケレドモ、併ナガラ一ト通ハ申上ゲテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、抑
様ガ如何ニナツテ居ルカト云フニ、或ハ智育ノ上ニ於テハ、或ル部分ハ進デ
居ルカモ知レナイ、併ナガラ所謂成業シタル人ミヲ見マシタナラバ、其學問
ノ發達シタダケ、ソレダケ其智識ノ進ミマスダケ、ソレダケ其人達ノ健康ノ
上ニ於テ、體育ノ上ニ於テ、如何デアルニアラウカ、所謂腦髓ニハ食物ヲ食ッ
タケレドモ、身體ハ頗ル不健康ニナツテ、青瓢箪的ノ學者、肺病流ノ神經的
ノ人間ガ出來タト云フコトハ、諸君ノ能ク認メラレテ居ルコトデアラウト考
ヘル、(「ドウゾ簡単ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)ソレデ今日ニ於テ日本ノ國
民ノ此身體ガ段々羸弱ニ流レタ、アル所ノモノガ最モ著シク顯レテ居ル
ノハ、軍事上ノ調査ノ結果デ頗ル明デアリマス、皆サンガ軍備擴張陸海軍
ヲ是ダケ盛ニスル、或ハ軍備ヲ是ダケ擴張スルト云フコトヲ熱心ニ主張ス

ル——吾々モ主張スル一人デゴザイマスガ、今日日本ノ人民ノ現時ノ體格現
時ノ骨相ヲ以テ、果シテ宇内ノ此激烈ナル生存競争場裡ニ立テ弱肉強食ノ
世界ニ處シテ進テ行ケルデアラウカ、私ガ軍事上ニ就テ調ベル所ニ據ル時
ト、サウ長イ間デナリ、僅ニ十年間ノ此統計表ヲ調べテ見マスルノニ、明治
十六年ヨリ明治二十五六年ニ至ル平均ヲ見ルト、人間一人ノ體格ガ、明治十六
年ニハ十五貫六百目アツト云フコトデゴザイマスガ、明治二十五年ニ至リ
マシテハ、十五貫百目ニ減ジテ、十年間ニ五百十五匁ツ、平均減シタト云フ調
ニナツテ居ル、勿論諸君斯ウ云フコトガ、果シテ今日以後段々引續クナラ
バ、將來ノ國民ハ如何ニナリマセウカ、日本國民ノ體育ガ頗ル冷淡ニ付セラ
シテモ、諸君等ノ間ニハ、或ハ演説ヲ簡單ニセヨトカ、或ハ斯ウ云フ問題ハ
ドウデモ宜イト云フ議論ガアル、ソレハ此議會ノ精神ニ於テ吾々ノ甚ダ遺憾
ニ考ヘル所デアリマスル、諸君ハ現ニ今日ノ教育上ニ於テ、諸君等自ラ及諸君
等ノ子弟ガ何ニ依クテ大切ナル體育ヲ主ラシメツ、アルカト云フコトヲ御考
ヘ下ス、タナラバ、ドウデゴザリマセウ、日本ノ官立學校或ハ府縣立ノ學校、
若クハ公立私立ノ學校ニ在ル教育ハ、如何ニ缺乏シツ、アルカハ、諸君等ノ
知ラル、處テ、現ニ文部省ニ於テ體操科ノ教員ヲ採リマスル方法トシテハ、
教導團ヲ卒業シタ處ノ下士ノ豫備或ハ後備ニアル者ヲ用ヒ、若クハ其退職ニ
ナツタ者ヲ用ロル、又一ノ手段トシテハ検定試験ヲ設ケテ、ソレニ依クテ其人
ヲ採リツ、アリマスルガ、併シ今日實際體操教育——體育ノ上ニ就イテ考ヘ
テ見マスルト、斯ウ云フ人達ガ子弟ヲ率井テ、之ニ體育ヲ授ケルトキニ當リ
マシテ、ドウデゴザイマセウカ、其士官達ハ或ハ軍隊的ノ教育ハ能ク受ケテ
居ルカモ知ラヌガ、子弟ヲ教授スル上ニ於テハ、生理學或ハ衛生學或ハ教授法
或ハ管理法、斯ク云フコトニ就イテハ十分ニ教育ヲ受ケタ者デハナイト吾々
ハ考ヘル、ソレデ斯ノ如キ譯デゴザイマスカラ、現今ニ於テ體操教員ヲ供
給スル學校若クハサウ云フ機關ヲ備ヘナケレバナラヌハ、急要ナコトデアリ
マス、サウ云フ機關ハ遺憾ナガラ缺損シテ居ルカラ、茲ニ私共ガ提出シテ
アル所ノ日本體育會ナルモノ、外ニハナイト思ヒマス、文部省ガ此體育ノ教
育ニ關シマシテ、文部省ノ編輯シタ所ノ體操科ノ施設沿革ト云フヤウナモノ
ヲ讀デ見マスルニ——之ヲ朗讀スルノハ面倒デアルカラ、私ハ省イテ速記錄
ニ上シテ置キマスルカラ、ソレニ依クテ御覽下サルコトヲ望ミマス、ソレデ
言フマデナク、今日歐羅巴各國ニ於テハ、如何ニ此國民ノ體育ニ骨ヲ折クテ

居ルカハ、吾ミノ茲ニ調査ヲ申スマデモゴザリマセヌガ、即チ國ノ兵力ト云フモノハ、其國民ノ體力ニ依テ強弱ヲ見ルコトガ出來ル、ソレデアルカラ歐羅巴諸國ニ於ケル軍事教育ノ盛ナル、又政府ガ是等ノ體育ノ教育ニ向クテハ出來ルダケノ補助ヲ與ヘ、又其立法部其國會——其國民ノ希望ヲ代表スル所ノ議會ノ如キハ、皆盛ニ是等ヲ補助スルト云フ方針ヲ執テ居ルコトハ幾ラモ例ガゴザイマシテ、サウ云フ國家ノ保護ノ下ニ成立テ居ル結果トシテ、例ヘバ獨逸ノ一例ヲ舉ゲテ見マシテモ、獨逸ニハ體操會即チ大勢國民ノ子弟ガ集シテ體操ノ練習ヲ遺ルトカ、若クハ兵式操練ヲ爲ストカ、射撃ヲ爲ストカ、或ハ游泳ヲ爲ストカ、斯ウ云フコトヲ爲スガタメニ、殆ド其會ト云フモノ、多キコトハ、六千以上モゴザイマシテ、會員ノ數ガ六十何万人程アルト云フコトデゴザイマス、佛蘭西ノ如キハ有名ナル幼童大隊町村ノ……村ヤ町ノ小供ヲ集メテ大隊ヲ作ヌテ、盛ニ操練ヲ行リ、或ハ軍事操練場ニ於テ、若クハ體操場ニ於テ、或ハ大運動會ヲ設ケルト云フヤウニ、此間ニ自ラ國民ノ勇武ナル志想ガ磅礴トシテ武俠ナル國民ヲ養ヒツ、アル譯デゴザイマス、私共ハ是等ノ歐羅巴諸國ノ盛ナル景況ヲ觀察スル毎ニ、實ニ我國ニ於ケル現時ノ此根本的體育ノコトガ如何ニ萎靡シテ振ハザルカヲ見マスルナラバ、實ニ慨歎ニ堪ヘナイコトガ幾ラモゴザイマス、元來文部省ハ諸君ガ知ラル、通甚ダ無能力ト申シテハ失禮カハ知ラヌガ、權力ガ弱イ、文部省ガ其教育機關ノ上ニ於テ、日本ノ諸政ノ上ニ於テ、諸ミノ政事ヲ爲ス上ニ於テ、勢力ノ乏シイコトハ、諸君ノ知ラル、通デゴザイマス、併ナガラ文部省ニ於テモ、何レ相當ノ考ガ有ルテゴザイマシヤウ、學者モ澤山アルカラ斯ウ云フコトニ骨ヲ折ルコトニモ成リマシヤウケレドモ、現時ニ於テハ何事モ爲シ得ナイ倍テ我國ニ於テ同志ノ者ガ集シテ、日本體育會ト云フモノガ成立テ居ル、此日本體育會ニ向クテ若干ノ補助ヲ與ヘルト云フコトヲセネバナルマイト思ヒマス、ソコデ體育會ノ沿革ノコトハ、是モ沿革ヲ取調べテゴザイマスルガ、其朗讀ハ略シテ速記錄ニ掲ゲルコトニ致シマシテ、私ガ一ト通摘シテ申シテ見マスルト、去ル明治二十四年カラ全國ノ同志ガ此コトニ就イテ、望ヲ同ジウスル所ノ人ミテ、此會ヲ二十四年八月ニ設立シタデアリマス、今年デ巳ニ八年ノ星霜ヲ經テ居リマス、幸我帝室ハ此國民ノ體育ヲ教育スルニ、大御心ヲ注ガセラレマシテ、即チ宮内省ヨリ御下賜金ヲ下サリ、又皇族以下諸親王殿下ハ、皆此日本體育會ノ贊成員等ニ成ラセラレマシテゴザイマス、本年ノ一月ニ至テハ閑院宮殿下ヲ總裁トシテ此下ニ統理セラレテ居リマスコトデ、

全國ノ會員ガ幾ド一万四千有餘ニ成テ居ル、是ガ現時ノ體育會ノ組織ゴザイマス、此事業ハドウ云フコトヲヤツテ居ルカト申スニ、吾ミノ取調若クハ實地見ル所ニ據リマスルト、第一ハ官立府縣立私立諸學校ノ體操教員ト云フモノヲ養フノデアル、元來文部省ニ在ル是ノ機關ガ不完全デアル、若クハマルテ用ヲ爲サナイト云フ今日ニ方クテ、體操教員ヲ養成スルコトが體育會ノ一大目的ニナツテ居リマス、是ハ諸君ノ知ラル、通、麹町區飯田町ニ場所ガ設ケテゴザイマシテ、二十四年以來卒業生ガ八九十名モ出テ居リマス、此八九十名ノ卒業生ハ、ドウ云フ勤勞ヲ爲シテ居ルカト云フト、各府縣ノ各學校ヘ參クテ各々勤イテ居リマス、其卒業スルヤ否體操教員ガ足リナイ所ノ今日ノ境遇ニ在リマスカラ、其需要ハ頗ル多クアリマシテ、皆各學校ニ奉職致シテ居リマス、又師範學校若クハ中學校等ニ於テ體操教員ノ檢定試験ヲシマス時分ニハ、此日本體育會カラ出タ人達ハ、皆及第シテ居ルト云フヤウナ譯デアリマス、ソレカラ又體育會ノ始終爲シツ、アル事業ハ、體育場ト云フモノヲ東京ニ二箇所設ケテアリマス、神田ノ錦町及本郷ノ向ヶ岡ニアリマス、是ハ兵式體操銃槍術兵式操練等ヲ教授シテ居リマスル、又一つハ射的場ヲ設ケテ市ヶ谷ノ佐内坂ト越中島ニアリマス、又游泳場ガ濱町其外ニ設ケテアリマス、又兵式講究所ハ士官候補生一年志願兵若ハ兵役ニ應スルタメニ營所ニ這入リマスル者ガ、其這入ル前ニ方クテ短期ノ間練習スル、是モ甚ダ良イ成績ニナツテ居ル、又此會ニ於テハ文武叢誌ト云フ雑誌ヲ發行シテ、大ニニ體育ノ必要ヲ主張シテ居リマス、又此會ノ支會ガ大阪北海道ニアリマス、大阪ノ如キハ最モ今日デハ盛ニ成シテ會員ガ七千モアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、斯ウ云フ組立デ、目的デ、斯ウ云ウ事業ヲ爲シツ、ゴザイマシテ、是ヨリ段々此會ヲ盛ニ致シマスルナラバ、全國ノ各府縣ニ及シ、又ハ各都市ニ及シテ行フコトニナリマセウ、然ルトキハ今日尙ホ忽諸ニ付セラレテ居ルトモス、斯ウ云フキ體育ノ事業ヲ盛ニ致シテ行クコトガ出來ルケレドモ、如何セン、今ハ唯會員其人ガ力ヲ併セテ僅カナル資本ヲ併セテ爲シテ居ルノデアリマス、シテ行フコトニナリマセウ、然ルトキハ今日尙ホ忽諸ニ付セラレテ居ルトモス、斯ウ云フ組立デ、目的デ、斯ウ云ウ事業ヲ爲シツ、ゴザイマシテモ、ソレヲ爲スベキ事業ハ多々益々ゴザイマシテモ、ソレヲ爲スコトガ出來ナイト云フノハ、誠ニ遺憾ナコトデゴザイマス、ソレ故ニ國庫ヨリ年々三万圓ノ補助ヲ與ヘテ以テ此目的ヲ達セシメンコトヲ希望スル譯デゴザイマス、又貴族院ニ於テ御賛成下サレテ、此建議案ハ何卒卽決ニ付セラレ可決確定セラレンコトヲ偏ニ希望スル譯デアリマス

(参照)

日本體育會沿革

教育ノ一般ヲ教授シ入營後ニ於ケル教育ノ發達ヲ容易ナラシメンコトヲ
圖ル

(一五)

一 日本體育會ハ明治二十四年八月ノ創立ニシテ其ノ趣旨タルヤ國民全般ヲ

シテ強壯事ニ耐フルノ體格ヲ具備セシメ一ハ殖產興業ノ發達ヲ圖リ一ハ

國家緩急ノ日ニ際シ舉テ奉公ノ義務ヲ全クセシメントスルニアリ

一 同年同月第一體育場ヲ神田錦町ニ設置ス

一 明治二十五年十一月神田三崎町舊練兵場ニ於テ第二回體育運動競技會ヲ

開ク其數凡七百人久邇宮邦彥王伏見宮邦芳王兩殿下臨御アラセラレタリ

一同年十一月有栖川宮熾仁親王殿下北白川能久親王殿下伏見宮貞愛親王殿下

下推戴名譽贊成員御承諾ノ榮ヲ賜ヘリ

一同年十二月第二體育場ヲ東京市本郷區向ヶ岡彌生町ニ増設ス

一同年同月小松宮彰仁親王殿下閑院宮載仁親王殿下推戴名譽贊成員御承諾

ノ榮ヲ蒙ムレリ

一同二十六年我邦體操教員ノ缺乏セルヲ遺憾トシ明治二十六年三月體操練習所ヲ麹町區飯田町ニ創設シ諸學校體操教員ノ熟練ヲ圖リ且ツ體操教員

ノ養成ヲ務ム

一同年九月忠君愛國ノ精神ヲ養成シ國民ノ元氣ヲ鼓舞スル目的ヲ以テ文武

叢誌ヲ發行セリ

一同年十月山階宮晃親王殿下賀陽宮邦憲王殿下久邇宮邦彥王殿下推戴名譽

贊成員御承諾ノ榮ヲ蒙ムレリ

一同年十一月第三回體育運動競技會ヲ神田三崎町舊練兵場ニ開ク久邇宮邦

彥王伏見宮邦芳王兩殿下臨御ノ榮ヲ賜ヘリ外國人其他來會者千五百名

一同年十二月辱クモ宮内省ヨリ 陛下體育獎勵ノ恩召ヲ以テ金圓ヲ下賜セ

ラル

一同年二十八年一月本會體操練習所卒業生ニ體操教員試驗規則ニ據リ甲程

ノ資格ヲ以テ試驗ヲ要セス任用ノ旨認可ヲ經タル府縣ハ東京府外一府十

二縣ナリ

一同年十月狹窄射擊場ヲ牛込區市ヶ谷左内坂町ニ創設ス

一同年三月第四回體育運動競技會ヲ陸軍戶山學校練兵場ニ開ク競

技者千餘名アリ

一同年三月五月第四回體育運動競技會ヲ陸軍戶山學校練兵場ニ開ク競

技者千餘名アリ

一同年七月兵事講習課ヲ設ケ兵役志願者及應徵者ノ爲メ入營期ニ先チ軍事

○議長(片岡健吉君) 工藤行幹君

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○工藤行幹君(二百六十八番) 私ハ本案ニ反對スル者デゴザイマスカラ、一
應其反對スル理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、而シテ其前ニ當テ私ガ少シ御断
リシテ置キタイト思フノハ、此體育會此ノモノニ就イテ善イモノデアルカ惡
シイモノデアルカ、此モノニ就イテ反對スルカト云フ御疑ガアルカモ知レマ

セヌガ、決シテ私ガサウ云フモノヂヤナイ、已ニ私モ此體育會ノ一人アラタ、
毎月幾ラツ、カ金ヲ出シテアルデゴザイマス、然レバ體育會ノ必要ナリト云
フコトハ、唯今提出者ノ述ベラレタ理由位ノコトハ、私モ疾クヨリ知ッテ居ル
是ハ必要ナコトデアルト思フ、又此案ニ就キマシテハ既ニ百四十何人程贊成
者ガアル、斯ノ如キ贊成者ノアルノニ、茲ニ私ガ反對ノ言ヲ申シテ見タ所ガ、
或ハ螳螂ノ龍車ニ抗スルカモ知レナイケレドモ、實ニ國家ノタメニ私ガ已
ムヲ得ナイ場合ニ至リマシタカラ、此ニ反對ノ意見ヲ述ベヤウト思フ、今
朝——今日ノ晝前ニ於テハ、貴族院ニ於テモ此案ノ通過シタコト目撃シテ
居ルデゴザイマス、斯ウ云フ勢ニモ拘ラズ之ヲ云フモノハ、蓋シ私ガ深ク考
フル所ガアル、即チ此案ノ格別重大ナモノヂヤナイ拘ラズ、斯ノ如ク多
數ノ贊成者ガアルト云フモノハ、畢竟是ハ體育會ト云フ其モノ、名ガ善
イノト、或ハ會員諸君ガ名望ノアルノトニ依ッテ是ニ贊成スルト云フト、誠
ニ人氣問題ニハ極ク都合ガ宜シイ、故ニ贊成者ガ多イダラウ、又會員ナル人
ハナカヽ熱心デアル、吾ミノ所ヘ來テ軍人風ノ人环ハ度々參ッテ、是
非此補助ノコトニ——國家カラ補助スルコトニ贊成シテ吳レロト云フ
コトハ、度々私共談ゼラレタコトデアル、現ニ昨日アタリモ手紙ヲ以テ明日
ノ議會ニ是ガ提出ニナツタラバ、必ズ贊成シテ吳レト云フコトノ書面ガアル
位ノコトデアル、斯ウ云フ通信が能ク行届クカラシテ、斯ノ如ク多數ノ贊成
者モゴザリマセウケレドモ、併シ諸君能ク之ヲ考ヘテ見タナレバ、前途ドウ
云フコトニナルカ、若シ此案ニシテ今日ハ貴族院ハ既ニ通過スル、又此衆議
院ニ於テ之ヲ通過シタト云フトキニナツタナラバ、必ズヤ政府ハ同意スルデ
ゴザリマセウ、同意シタト云フトキニハ、直チニ此追加豫算トシテ又三万圓
ノ補助ヲ出シテ來ルカモ知レナイ、其トキニハ無論既ニ本院ガ通過シタ日ニ
ハ、一モニモナイ金ヲ出サナケレバナラスト云フ結果ニナル、出シテ見タ所
ガ僅ニ三万圓ノ金デゴザイマスカラ、五箇年ヤツテ見テモ僅ニタル金デア
ル、國家ノ眼カラ見レバ此金ハ寄ムニ足ラヌト云フコトハ、當リ前デアルケ
レドモ、抑、諸君今日ハイヅレノ場合デゴザリマセウカ、即チ憲法七十一條
恐多クモ、陛下カラ前年度ヲ施行スル歲入歲出ハ、既ニ前年度ノ豫算ニ依
ラシムル——閣臣ニ命シテ前年度ノ豫算ニ依ラシムルト云フコトデアツテ、然
ルニ議會ニ提出シテ居ル所ノ豫算ノ有様ヲ見ルト、内閣ガ一向前年度豫算

ヲ施行シテ居ルト云フコトハ無視シテ居ル、憲法ノ第七十一條ヲ無視シテ居
ル、斯ウ云フ場合デアル、若シ此案ヲ通過シテ直ニ政府カラ又三万ノ金ヲ追
加豫算トシテ出シテ來タナラバ、吾ミモ同意セナクチヤナラヌ、若シサウ
云フコトデアレバ、吾ミノ見識ヲ以テ見ルト、此ノ如キ追加豫算ハ憲法ノ七
十一條ヲ蔑視シテ居ルト思フカラシテ、是ハ十分矯正シナクチヤナラヌ、然
ルニ吾ミハ此場合ニ於テ、此ノ如キ前年度ノ豫算施行中ナルニモ拘ラズ、政
府ニ對シテ此補助金ヲ出セト云フコトニシテ、吾ミハ又之ヲ出スト云フ譯
ナレバ、吾ミモ亦政府ノ爲ス所ニ倣テ憲法ヲ無視スルト云フヤウナコトニ
ナル、或ハ此金ハ僅ノ金デアルケレドモ、種々俑ヲ作ルモノニナリハシナイカ
ト云フコトヲ私ガ憂フルノデゴザイマス、是ヨリ進デ此内閣ガ全體憲法ノ
七十一條ヲ蔑視シテ居ルト云フコトノ私ガ理由ヲ述ベマス、今度ノ追加豫
算——前年度ノ豫算ヲ施行スルト言ヘバ、剩々タモノヲ其儘ニシテ置クニ就
イテ、此支出ノ方ノ餘タモノモ其儘ニシテ置クカラシテ、是非足ラヌモノ
モ、ドウシテモ政府ハ勘辨シテ、前年度ノ範圍内デシナクチヤナラヌト云フコ
トハ當リ前ノコトデアル、然ルニ今度政府カラ出シタ所ノ豫算ト云フモノ
ハ、ドウ云フ次第ニナツテ居ルカト言ヘバ、更ニ右等ノ事ニ頓著シナイ、或
ハ官制改革ヲシテ、其結果トシテ俸給ノ増額ヲ求メテ來ル、或ハ看守巡査ノ
俸給ヲ増シタカラシテ、之ヲ出セト云フ、斯ウ云フコトモ官制ノコトモ其事ヲ
私ガ惡ルイト云フノヂヤナイ、唯此前年度ノ豫算實施ノ場合ニ於テ、右等ノ事
ヲ要求スルト云フコトハ甚ダ奇怪ニ堪ヘナインデアル、或ハ陸軍省ノコトヲ
見テ見ルト云フト、東京府ニ射的場ヲ新ニ拵ヘル、又ハ司法省ノコトヲ見レ
バ、是マデ區裁判所ノ如キハ、全國中ニ何箇所カ是マデ區裁判所ヲ置イタノ
ヲ、ソレガ少イカラ新ニ家賃ヲ拂ナクチヤナラヌ、故ニ之ヲ出ス、又ハ東
京ノ鑛山監督署ノ如キノ新築、是マデ鑛山監督署ト云フモノハドウカ人民ノ
ノ給料ヲ八百圓デハ足ラヌニ就イテ、千圓ニ上ゲナクチヤナラヌカラ、是モ
家ヲ借クテ間ニ合クテ居シタノデゴザイマセウ、多少ソラ不都合ノコトガア
ルカモ知レナイ、ソレヲ新築シナケレバナラヌ、或ハ地方ノ師範學校ノ教員
ノ給料ヲ八百圓デハ足ラヌニ就イテ、千圓ニ上ゲナクチヤナラヌカラ、是モ
出ス、成程足ラヌモノヲ言シテ見タナラバ、物價高直ノタメニ、或ハ巡查ノ如
キ、看守ノ如キニナツタナラバ、餘程困ルコトハ困ルデゴザイマセウケレド
モ、是等デモ尙ホ憲法ノ第七十一條ニ依ッテ、豫算——前年度ノ豫算執行ノ
場合ニ於テハ、金ガ足ラヌケレバ多少我慢ヲサセテ置カナクチヤナラヌ、況
ヤ師範學校ノ教員校長ノ如キハ、八百圓ヲ取ッテ居タナラバ、是ハ足ラヌ

コトハ足ラヌデゴザイマセウケレドモ、之ヲ増サントシタキニハ、此十一月ノ通常會ヲ俟ツテ之ヲ増シテ何ノ差カゴザリマセウ、然ルヲ是非今此所デ上グナクチヤナラヌ、鑛山監督署モ今五箇月六箇月ノ間ノ新築ヲ見合セルコトガ出來ナイト云ウテ、此臨時ニ追加豫算ニ出シテ來ルト云フコトハ、如何ニモ憲法ヲ無視スルモノト、私ハ思フノデゴザリマス、而シテ此歲入ノ方ニナルト云フト、ドウナルカト言ヘバ、一千何程ノ——一千二百八十八万四千餘ト云フモノハ、償金特別會計カラ借入レナクチヤナラヌト云フコトアル、前年度カラノ金ノ歲入ガナイニ就イテ費フ——支出ノ方ヲ澤山ニシテ行クカラシテ、已ムヲ得ズ償金ノ方カラ借入レル、此償金ト云フモノハ、ソレゾレ費途ノ極シテ居ルノデアル、費途ノ極ラナイ、用途ノ極ラナイ廉ガアッテ見タ所ガ、目下ノ民間ノ經濟上如何デゴザイマセウカ、或ハ公債ヲ還ヘセト云フ者ガアル、或ハモット公債ヲ買入レテ此國債ノ價格ヲ保タナラバ、宜カラウト云フ者モアル、是等ニハ必要ノコトガ澤山アリマセウ、然ルニ是等ニ構ハシテ此儘ニ追加豫算ノ方へ——一向前年度ノ豫算施行中ニモ拘ラズ、尙ホ追加豫算トシテドンく出シテ來テ、其結果ト云フモノハ、一千有餘万圓ト云フモノヲ償金カラ繰入レルト云フノハ、實ニ私ハ怪シカラヌコト、思フノデゴザイマス、然ルニ論者ガ或ハ之ハ今建議シテ置イテモ、今直チニ出ス金ヂヤナイ、此追加豫算ニ於テ出ス金ヂヤナイ、然ラバ建議シテ置イテモ宜イト云フ論者ガアルカモ知レナイ、然ルニ本員ヲ以テ見ルトキニハ、此十一月ノ議會ニハ經濟上實ニ容易ナラヌト思フ、經濟上容易ナラヌト思フコトハ、何故ト言ヘバ既ニ此議院ニハ提出ニナラヌケレドモ、目下此十二議會ニ對シテ三十二年度ノ金ノ足ラヌト云フダメニ、或ハ地租、或ハ酒、或ハ所得稅ニ對シテ三千幾百万圓ノ増稅ヲシナケレバナラヌト云フコトデアル、是ハ果シテ然ルヤ否、吾ミハ未タ其原案ヲ受取ラナイカラシテ、確實トハ言レナイケレモ、或ハ政府ニ此下相談ガアルニ相違ナイト思フノデゴザイマス、諸君、如何デゴザイマスルカ、戰後ノ經營トシテ既ニ二千七百万圓ノ増稅ヲテ、之ヲ以テ十年必ズ稅ヲ増サズシテヤラウト云フコトハ、三年ニ至ラズシテケレモ、或ハ政府ニ此下相談ガアルニ相違ナイト思フノデゴザイマス、諸君、如何デゴザイマスルカ、戰後ノ經營トシテ既ニ二千七百万圓ノ増稅ヲテ、之ヲ以テ十年必ズ稅ヲ増サズシテヤラウト云フコトハ、誠ニ怪シカラヌコトハ、思フ、然ラバ此三十二年度ノ豫算ト云フモノハ、餘程吾ミ衆議院議員ハ、鄭重ニモ鄭重ヲ加ヘテヤラヌベナラヌコトデアル、然ルニ先ツ以テソレモ分ラナイ中ニ、今カラ國庫カラ補助スルト云フ、縱令三万圓デアラウトモ之ヲ「ケチ」ニシテ三十二年度カラヤレト云フコトヲ金ノアルト云フマダ見エナイ——國家ノ財

政ノ前途モ見エナイ中ニ、今之ヲ決議シテ置クコトハ、甚ダ早計デナイカト思フ、恐ラク幾ラ體育會ニ贊成ノ諸君ト雖モ、人民ノ稅ヲ殊更ニ負擔シテモ、尙ホ體育會ニ補助セネバナラヌ必要ハナイト思フ、ソリヤ體育會モ必要デゴザリマセウ、又外ノ教育會モ必要デゴザリマセウ、マダ私ニ言セルト、小學校ノ就學生徒ノ少イノモ遺憾ナコトデアル、是等ニ就イテモ各國ノ例ニ倣ツテ數フルナラバ、獨リ體育會ノミデヤナイノデゴザイマス、故ニサウ云フコトハ此第十一議會ノ財政ヲ見テ、成程是ダケノ金ハ、ドウカシテ他ノ不要ナモノヲ削減シテモ、此方ニヤルガ宜イト云フ目途ガ附イテ建議スルト云フナラ、本員ノ如キモ兩手ヲ舉ゲテ贊成スルノデゴザリマス、然ルニ一方ニハ今若シ出サントセバ、前申ス通、吾ミハ政府ノ此追加豫算ハ甚ダ不都合ナモノデアルト思フ、此コトハ定メシ賢明ナル豫算委員諸君ニ於テハ十分御調査ニナシテ、又吾ミノ本院ニ於テモ十分議シテ、ドウシテモ憲法第七十一條ノ精神ニ適フヤウニ矯正シナクチヤナラヌト云フ考テアル、若シ此三十二年度ノコトニスルト云フ譯ナラ、未ダ前途測ルベカラザルトキニ、一方ニハ增稅スルト云フ位ゴザイマスカラ、之ヲ能ク調査シテ、果シテ國庫ニ餘裕ノ生ズル場合ハ宜イケレドモ、ソレ等ノコトヲ一向見ナイデ、之ヲ出スト云フコトハ如何ニモ早計ナコトデヤアルマイカ、又此體育會ニ擔當シテ居ル諸君、先刻小室君カラモ承レバ、又私モ知ツテ居ル高位高官ノ御方モゴザルト云フコトデゴザリマス、此金ヲ人民ノ稅ヲ増シテモ是非取ラナクチヤナラヌト云フ思召テハ決シテアルマイト私ガ思フノデゴザリマス、故ニ此事ガ惡ルクハナシ、三十二年度ニ於テ國庫ニ剩リガアッタラ、イツ遣シテモ宜イガ、今カラ其事モ計ラズシテ之ヲ遣ルト云フコトハ如何ニモ早計ナモノニ思レルシ、又之ヲ受ケル御方ニシテ見テモ、今稅ヲ増シテモ之ヲ取ラネバナラヌト云フコトノ御精神デハアルマイ、却テ人民ニ對シテサウ云フ不親切ナコトヲスベキ道理モナイノデゴザイマス、此體育會ト云フモノハ、隨分多數ノ會員モアコテ、ドウカ今ノ所テハ間ニ合ツテ居ルノデアル、之ヲ擴張スルト云フ譯ニナクタラ、恐ラクニ万圓位ノ金ヲ以テトテモ全國ニ普及スルコトハ出來ナイデゴザリマセウ、今ノ所テ小室君モ言ハレル通、東京ニ二箇所或ハ私ノ聞ク所アヘ、北海道ニモ一箇所、ソレカラ大阪ニ一箇所、此三箇所デモ尙ホ足ラズレテ、今三万圓ヲ求ムル位ナラ、全國ニ之ヲ普及セシムルト云フニヘ、ナカ——此位ノ規模デハイクマイト思フ、併シ能ハズトシテ止ムベキモノデナニカラ、

第一ニハ會員タル者ハ、此心ヲ以テ大イニ奮發シテ自分ノ資力ノ及ブ限金ヲ出シテ——人民協同シテ金ヲ出シ、又進デ全國ニ普及セシムルト云フ、「モック」計畫ヲ變ヘテ大イナルコトヲシナクチヤナラスト思フ、免ニモ角ニモ此豫算不成立ノ今日ニ於テ、是等ノ事ヲ議シ、或ハ三十二年度カラトシテ見テモ、今ヤ増稅セントスル場合ニ、是等ノ事ヲ議サウト云フノハ、如何ニモ慎重ヲ缺グノミナラズ、若シ是等ノ事ヲ議シテヤツタナラバ、吾ミハ他日此追加豫算ニ對シテ削減ヲ試ミルトキ、政府カラ却テ反駁ヲ受ケルカモ知レナイ、汝等ハ此不急——或ハ不急トハ言ヘナイカモ知レナイガ、一方ニ體育會ニ補助シナガラ、一方ニハ給料ナドヲ減ズルハ何事デアル、汝等ノ減ズルト云フ方針ト此方針トハ違フテ居ルト云フテ、「アベコベ」ニ向フカラ攻撃ヲ受ケルカモ知レナイ、如何ニモ贊成者諸君ヲ見レバ、吾ミノ不斷最モ敬畏シテ居ル堂々タル人モ澤山アリ、其他有志中ニモ澤山ゴザリマスケレドモ、或ハ一時此會員ノ運動ノタメニ是等ノコトニ御著目モナカタモ知レヌト思フテ、甚ダ婆心ナガラ一言ヲ呈シマス、相成ルベクハ私ハ之ヲ他日ニ讓ラレル積デ以テ、當會ニ於テハ否決セラレシコトヲ望ム者デゴザリマス

○小室重弘君(百八十八番) チヨット工藤君ニ御尋シタイ、アナタノ御論旨ハ私ニハ能ク了解ガ出來マセヌガ、一々聞イテ置クコトガアリマス、此建議案ノ中ニ追加豫算トシテ此議會ニ提出セヨト云フコトハ書イテナイ筈デアリマス、アナタハ何處ヲ御覽ニナフテ居リマスカ、又工藤君ハ僅ニ三万圓ノ金ハ寄ムニ足リナイ、自分モ體育會ノ會員デアル、而シテ戰後ノ經營ト云フコトヲ言ハル、ガ、工藤君ノ言ハル、戰後ノ經營ト云フノハ、數理的ノ上ニ立テラレテアル算盤ノ上ノ形以下ノ經營ヲ指スカ、教育ノ如キ、體育會ノ如キ、重大ナル問題ヲ茲ニ持出シタノデアル、ソレヲ重大デナイト言ハレルガ、私共ハ戰後經營ノ根本的ノ仕事デアルト思フ、工藤君ハ如何ニ解釋シテ居ラレカ、ソレヲ承リタイ

○工藤行幹君(二百六十八番) 第一ノ御問ハ此文章ニ追加豫算ニヤレト云フコトハナイト云フコトハ、私モ承知デゴザリマス、然レドモ小室君モ御承知ノ通、以前例ノアツカコトガ彼ノ北里博士ノ傳染病病院ノ補助ト云フコトヲ建議シタキ、政府ハ其建議ガ通ルト、其金額ヲ以テ追加トシテ其當時ノ會ニ直グ出シタコトガアルデヤゴザイマセヌカ、ワレ故若シ此案が通過シタナラバ、貴族院モ通過シテ政府ノ意向ニ依フテ承知シタ追加豫算トシテ三万圓ノ金ヲ出シテ來タナラバ、小室君ト雖モ反対ハ出來マスマイ、無論容レナクチヤナラ

ヌト思フ、備テ第二ノ御尋ハ、私ハ此事ハ大切ナコトデアルト云フコトハ承
知シテ居ル、併ナガラ戰後經營ダカラシテ、是ヲヤルガタメニ人民ノ租稅ヲ増
シテモ尙ホ此事ハヤラナクチャナラヌト云フ至急ナモノカト云フタラ、私ハ
左程至急ナモノデナイト云フコトハ斷言スルコトヲ憚ラナイ、今ヤ稅ヲ増ス
カ増サヌカト云フ問題ハ、社會ニ湧出デ、居ル場合デアル、之ヲ處理シタ上
ナレバ宜シイガ、處理シナイ前ニ體育會ニ補助シナクバナラヌト云フコトハ、
本員ハ絶對的ニ反對ナノデアリマス、御了解デアリマスカ

○西川字吉郎君(九十五番) 本員ハ小室君ニ大贊成デアリマシテ、此體育會ノ如キコトハ先刻工藤君モ色ニ大早計トカ云フ議論モアリマシタガ、是ハ私ハ餘程後レテ居ルト思フ、國家ノ進歩ニ對シテハ非常ニ後レテ居ルト思ヒマス、他ハ申シマセヌガ、飽マデ小室君ニ贊成ヲスルノデゴザイマス

○堀家虎造君(二百二十二番) 政府委員ノ御方ニ、チヨツト御尋シタオコト

ガアルノデスガ、文部省ノ御方ハ御出ナサイマスカ
○議長(片岡健吉君) 今文部省ノ方ハ見エマセヌ
○堀家虎造君(二百一十二番) 見エナケレバ止ムヲ得マセヌ
○議長(片岡健吉君) 本案ニ就イテハ、賛成者モアリ、反対者モアリマスガ、
決ヲ採リマス、本案ニ同意ノ諸君ハ起立ヲ請ヒマス

○議長（片岡健吉君） 多數ト認メマス此建議案ハ可決セラレマシタ、議事日程ノ第十六市制中東京市京都市大阪市ニ於ケル特例廢止法律案ノ第一讀會ニ
移リマス——肥塙龍君

第十六 市制中東京市京都市大阪市ニ於ケル特例
廢止法律案(肥塚龍君外六名提出) 第一讀會

明治二十二年法律第十二號ハ明治三十一年九月三十日限り之ヲ廢止ス
○肥塚龍君(四十一番)此議事日程ノ第十六竝ニ第十七ハ、聯關シテ居

ノデゴザイマスガ、モウ此特別市制ト云フコトニ就イテハ、諸君ハ別ニ辯明モ何モ無クトモ、悉ク御承知ノコトデゴザイマスデ、私ハ即決ヲ願フ積デ居リマンタノデアリマス、所ガ丁度當リ前ノ議案ト反対ナコトガ一ツ起リマンタノデ、當リ前ナレバ提出者ハ即決ヲ冀望スベキダガ、サウデナク提出者ハ委員ヲ設ケルコトヲ希望スルノデ、ドウゾ第十六、又第十七ニハ未ダ移リマセヌ

ガ、第十六第十七ハ七人ノ委員ヲ設ケテ、其委員モ殊ニ至急ヲ要スル短期ノ議會ニアリマスカラ、二日間ニ委員ノ任務ヲ盡スト云フ期限ヲ定メテ、七人ノ委員ヲ設ケルコトヲ希望シマス

○議長(片岡健吉君) 委員ノ數ハ七名デアリマスカ

○肥塚龍君(四十一番) 七名

○議長(片岡健吉君) チヨヲト御詰リ致シマス先刻ハ此日程第十六ヲ議ニ付スルコトヲ宣告シマシタガ、今提出者ノ肥塚龍君カラ第十七モ同ジ性質ノモノダカラ、同シヤウニ議ニ付シタイト云フ動議ガアリマス、御異議ガナケレバ、此二案ヲ併セテ議ニ付スルコトニ致シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 然ラバ第十七市制中追加法律案モ併テ議ニ付シマス

第十七 市制中追加法律案(肥塚龍君外六名提出) 第一讀會

市制中追加法律案

明治二十一年法律第一號市制第七十二條ニ左ノ一項ヲ追加ス

東京市京都市大阪市ニ於テハ市長ハ區長及其代理者ヲシテ區内ニ關スル國ノ行政及府ノ行政並收入役ノ事務ヲ補助執行セシムルコトヲ得

〔委員ヲ七名ニスル理由ハドウ云フ譯デス、九名ガ當リ前ダ〕ト呼フ者アリ

○肥塚龍君(四十一番) 七名テ澤山ト思ヒマシタガ、議事ノ慣例モアリマスカラ、九名ト云フコトニ致シタイ、ソレカラ委員ハ議長ノ指名ヲ願ヒマス

〔贊成タキ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 委員ハ九名ト改メラレマスカ

○肥塚龍君(四十一番) 左様

○議長(片岡健吉君) 肥塚龍君カラ九名ノ委員ヲ議長ヨリ指名シテ此二案ヲ付託シタイト云フ動議ガ出マシム

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(片岡健吉君) 異議ガナケレバ其通ニ決シマス、本日ノ日程ハ是デ了リマシメガ、茲ニチヨト宣告スルコトガアリマス、明日ハ議事日程ニ上スタケノ程度ニ進ンタル議案ガアリマセヌカラ、休會ヲスル積デアリマス、是マデ委員ニ選ベレタ御方ハ、縱令本會ハ明日休會致シテモ、委員會ハ成ルタケ速ニ審査ヲ遂ゲラレンコトヲ望ミマス、又本日指名ヲ致シマシク所ノ委員諸君ハ、明日委員會ヲ開カレテ委員長理事ノ選舉ヲナサレ、速ニ其託サレタ所ノ議

案ノ審査ニ著手セラレンコトヲ望ミマス、明後日ノ議事日程ハ追テ書面ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時二十七分散會

衆議院議事速記録第三號正誤

頁	段	行
一四	上	一二 ノ次ニ左ノ三行ヲ加フ

生絲直輸出獎勵法廢止法律案 明治三十年法律第四十八號生絲直輸出獎勵法ハ之ヲ廢止ス 此ノ法律ハ發布ノ日ヨリ施行ス
